

第二十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十九號

議事日程 第十九號 明治四十一年三月二十六日(木曜日)	午前十時七分開議
午前十時開議	
第一 地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議委員ノ選舉	
第二 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第三 感化法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第四 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第五 肥料取締法改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第六 官吏恩給法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)
第七 明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)	第一讀會ノ續(委員長)
第八 明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)	第一讀會ノ續(委員長)
第九 明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)	第一讀會ノ續(委員長)
第十 明治三十九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)	第一讀會ノ續(委員長)
第十一 明治三十九年度清國事件第二豫備金支出(議院送付)	第一讀會ノ續(委員長)
第十二 明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)	第一讀會ノ續(委員長)

第十三 臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件	會 議(委員長)
第十四 民事訴訟法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第十六 帝國ノ領土内ニ於ケル裁判ノ效力ニ關スル法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第十八 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第十九 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第二十 法安警察法中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第二十一 法律案(衆議院提出)	第一讀會
第二十二 地租條例中改正法律案(衆議院提出)	第一讀會
第二十三 海外商工事務官ヲ置クノ建議案(大谷嘉兵衛君提出)	第一讀會
第二十四 定期航海復舊繼續ノ請願	第一讀會
第二十五 暴風雨雹害地地租免除ノ請願	第一讀會
第二十六 養豚獎勵法ノ請願	第一讀會
第二十七 姬路城保存ノ請願	第一讀會
第二十八 假名遣ニ關スル請願	第一讀會
第二十九 高等商業學校設立ノ請願	第一讀會
第三十 山陰縱貫鐵道速成ノ請願	第一讀會
第三十一 上越鐵道敷設ノ請願	第一讀會
第三十二 停車場設置ノ請願	第一讀會
第三十三 檺太島漁場再貸下ノ請願	第一讀會
第三十四 重要物產同業組合法改正ノ請願	第一讀會
第三十五 鐵道敷設ノ請願	第一讀會
第三十六 鐵道敷設ノ請願	第一讀會
第三十七 海道稚内港修築ノ請願	第一讀會
第三十八 利根川流域地方ニ統一的治水策ヲ行フノ請願	第一讀會
第三十九	第一讀會

畠地租特別免ノ請願
借地人権利保護ニ關スル請願

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

産業組合法中改正法律案特別委員會

委員長 德久 恒範君

明治四十年法律第三十一號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松木 宗隆君 副委員長 男爵西五辻文仲君

肥料取締法改正法律案特別委員會

委員長 子爵一柳 未徳君

刑事訴訟法中改正法律案特別委員會

委員長 三好 退藏君

官吏恩給法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵新莊 直陳君

東洋拓殖株式會社法案特別委員會

委員長 侯爵黒田 長成君

質屋取締法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵大村 純雄君

海外商工事務官ヲ置クノ建議案特別委員會

委員長 伯爵德川 達孝君

産業組合法中改正法律案可決報告書

感化法中改正法律案可決報告書

明治四十年法律第三十一號中改正法律案可決報告書

肥料取締法改正法律案可決報告書

官吏恩給法中改正法律案可決報告書

明治三十九年度豫備金支出ノ件可決報告書

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件可決報告書

明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件可決報告書

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件可決報告書

報告書

明治三十九年度清國事件第二豫備金支出ノ件可決報告書

明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件可決報告書
臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件可決報告書
明治三十年法律第三十九號中改正法律案可決報告書
地租條例中改正法律案可決報告書

海外商工事務官ヲ置クノ建議案可決報告書
帝國ノ領土内ニ於ケル裁判ノ效力ニ關スル法律案
治安警察法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

海外商工事務官ヲ置クノ建議案可決報告書

帝國ノ領土内ニ於ケル裁判ノ效力ニ關スル法律案
治安警察法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

地方稅制限ニ關スル法律案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治四十一年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

本院ハ地方稅制限ニ關スル法律案協議會委員ノ數ヲ拾名ト爲スニ決セリ

此段及通知候也

明治四十一年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議委員ノ選舉

○伯爵正親町實正君 此協議委員ノ選定ハ議長ノ指名ニ願ヒタイト思ヒマス
フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○加藤政惠君 賛成
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、直ニ協議委員ノ氏名ヲ書記官

長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議委員

伯爵正親町 實正君 伯爵廣澤 金次郎君
男爵、^翠式雅君 男爵石黒 忠嘉君

男爵高崎安彥君

鎌田
榮吉君

卷之三

錢長（公爵德川家達君）

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、鍋島子爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ徵フ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

明治四十一年三月二十四日

右特別委員長

子爵 銅島直彬

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

〔伯爵正親町實正君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、鍋島子爵ニ發言ヲ許シマシタカラ暫ク御猶

豫々願ヒタウコサイマス

○子爵鍋島直彬君
本案委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此案ハ法

文ハ簡単ナモノデゴザイマスルガ、其實ハ頗ル面倒ナムヅカシイ分リニクイ

モノデゴザイマス。委員會ハ三月十一日、二十日、二十三日、二十四日、四

回開キマシテゴザイマス、其三回ノ委員會クラ井マデハ殆ド質問ヲ以テ充タ

サレタ位デゴザイマス、委員會ハ種々ノ方面ニ向テ研究ヲ爲シマシタ。餘ホ

ド審査ニハ力ヲ盡シマシタノデゴザリマス、或ル場合ニハ大藏省農商務省ヨ

リ内地ノ油田ノ調査ヲ爲シマシタル技師ヲ説明員トシテ出席セシメラレルコ

トヲ要求イタシマシテ、越後其他ノ内地ノ油田ノ状況ヲ承ハリマシタ、又石油

ノ取締上ノコトニ付キマシテハ、特ニ内務省ノ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、ソレ等ノ研究モ致シマシテゴザイマス、尙ホ重要ノ問題ガ起リマシタ場合ニ

付イテハ大藏大臣ノ出席ヲ要求イタシマシテ、雷ニ委員會ニ於テ大藏大臣ノ意見ヲ承ハルノミデナク委員會ヲ中止イタシテ、大藏大臣即チ政府トノ協議ヲ遂ゲマシタヤウナコトモゴザイマスル、種々ノ手段ニ依リマシテ審査ヲ致シマシタノデゴザイマス、其結果、御報告ヲ申シマシタル通り即チ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト議決イタシマシタ次第デゴザイマス、ソレデ此研究審査イタシマスルニハ、多ク數量若クハ價格ナドニ關係イタシマスコトガ多ウゴザイマスノデ、多ク此數字ニ涉リマシテ研究ヲ致シタノデゴザイマス、併シ其數字ニ涉リマスルコトヲ申シマスルコトハ、一々速記ガゴザイマスルカラ、是ヨリ申上ゲレバ申上ゲラレヌコトモゴザイマセヌケレドモ、併シ速記錄ハ既ニ諸君ノ御手許ニ配付セラレテゴザイマシテ、諸君モ御覽ニナッテ居ルダラウト思ヒマスカラ、數字ニ涉リマスコトハ省キマシテ、此可決スベキモノト議決イタシマシタル理由ト其順序トヲ、簡單ニ是ヨリ申述ベマスルコトニ致シマス、御承知ノ通り、内地ノ石油業ハ漸次ニ發達イタシマシテ、前途頗ル有望ノモノデゴザリマスルガ、政府委員ノ説明ニ依リマスルト、年々發達ハ致シテ居ルケレドモ、マダ全國ノ燈油卽チ「ランプ」油ノ需要ノ三分ノ一二供スルニ過ギヌノデアル、其三分ノ二ト云フモノハ全ク外國ニ仰ガヌケレバナラナイ、尙ホ内地石油業ノ發達ガ果シテ幾年ノ後ニ於テ全ク外國ヨリノ輸入ヲ仰ガズシテ全國ノ需要ヲ充タスベキカ、ドウカト云フ、此見込ヲ立ツルコトハ甚ダ困難デアルト云フ政府委員ノ説明デゴザイマシタ、如何ニモ其通リデアラウト思ヒマス、然ルトキハ外國ノ原油ヲ輸入シ燈油ヲ製造シ、外國ヨリ年々輸入シツツアル多額ノ燈油ヲ驅逐シテ、内地ノ製造業ヲ發達セシメヌケレバナリマセヌ、之ニ付イテ切ニ慮ルベキコトハ、内地ノ原油ニ依テ製造スルモノト輸入ノ原油ヲ以テ製造スルモノトノ此二ツノ權衡ヲ計リマシテ、内地ノ原油ヲ以テ製造ヲ爲ス者ニ打撃ヲ及ボシテ其事業ヲ衰頹セシムルヤウナコトナク、又原油ヲ輸入シテ製造ヲ爲スノ事業ニ向ツテモ是ガ阻碍ヲ爲サザル現下ノ程度ヲ計リ、二ツナガラ成立ツテ益々盛大ノ氣運ニ進マシムルト云フコトニナルノデゴザイマス、内地ノ製造業ガ隆盛ニ赴キマスルトキニハ、啻ニ「ランプ」油バカリデハゴザイマスセヌ、同時ニ製造セラルル所ノ重油、其重油ヲ廉價ヲ以テ工業用ニ供給スルヲ得ルニ至リマシタナラバ、國家經濟上工業ノ發達上、其利益ハ少カラズコトデアラウト存ゼラレマス、政府ノ此稅率ノ改正ヲ要セラレマスルノハ、實際已ムヲ得ヌコトト存ジマスガ、唯

其率ハ餘リ急激ノ増進ト思ハレマスルノデ、先ヅ本案即チ衆議院ノ修正グラ
井ノ所ノ程度ニスルノガ穩當デアラウト云フコトニ認メマシタノデゴザイマ
ス、衆議院ノ修正通リニナリマスルト、餘ホド減ジマスルコトニナリマス、
サテ此委員會ニ於テ、三島子爵ノ發言ニ依リマシテ、一ノ希望ガゴザイマシ
タノデゴザイマス、是ニハ委員續々ト贊成ガゴザイマシテ、齊シク希望ヲ述
ベラレマシテゴザイマス、其希望ガ果シテ政府ニ容レラレタナラバ本案ニ贊
成ヲ致サウ、斯ウ申スコトデゴザイマシタ、其希望ハ如何ナル希望カト申シ
マスト、此法律ノ施行期日ノ之ヲ勅令ニ委ネラレテゴザイマス、斯ノ如キ製
造業者ニ向ツテ直ニ利害得失ノ關係ヲ有スベキモノハ、施行期日ハ之ヲ急迫
ニスルコトヲ避ケナケレバナラナイ、多少其間ニ餘裕ヲ與ヘルガ宜シイ、此
希望ガ容レラレナカッタナラバ容易ニ贊成ハ出來ナイノデアルト云フ意思デ
ゴザイマシタ、ソレデ特ニ大藏大臣ノ出席ヲ要求イタシマシテ、政府ハ此施
行期日ヲ約一箇年ノ後ニセラレタイト云フ委員會ノ希望ヲ述ベマシタルニ、
大藏大臣ハ之ヲ容レラレマシテゴザイマス、此委員會ノ施行期日ヲ約一箇年
ノ後ニセラレタイト云フ希望ハ、此案ヲ可決スルノ源トナッテ居ルノデゴザ
イマス、若シ此希望ガ容レラレヌトキハ、或ハ委員會ニ於テモ種々ナ議論ガ
生ズルカモ知レヌト云フ有様デゴザイマシタ、然ルニ大藏大臣ハ之ヲ容レラ
レマシテゴザイマス、サテ大藏大臣ノ委員會ニ向ツテノ公約即チ承諾ヲセラ
レタル言葉ハ、唯私ノ記憶ニアルモノヲ概略ヲ述ベマスルヤウナコトデハ甚
ダ不確カデゴザイマシテ、是ハ頗ル重要ナ事デゴザイマスル故ニ、速記錄ノ
儘ニ大藏大臣ノ言葉ヲ讀上ゲマスル積リデゴザイマス、大藏大臣ハ委員會ノ
希望ニ對シテ斯ノ如ク答ヘラレマシタ

此施行期限ト申スモノハ頗ル重大ナ關係ヲ持チマスルカラ、彼此事業ノ狀
態ニ鑑ミマシテ、施行期限ヲ成ルベク緩ニ致シマシテ、出來得ル限りハ三島
子爵ノ意見ノ如クニ、約一箇年ト云フ期限ニ於テ實施ヲ致スコトモ決シテ、
差支ハナイト思ヒマスルニ依ツテ、此段御了承下サレマシテ、ドウゾ衆議院
ノ修正ノ如クニ、速ニ御議決アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス
斯様ナ公約ヲ致サレマシタ、委員會ハ政府ニ於テ希望ヲ容レラレマシテ政府
ノ公約ヲ得マシタル故ニ直ニ全會一致ヲ以テ可決スベキモノナリト議決イタ
シマシタル次第デゴザイマス、前ニ申述ベマスル通り數量若クハ統計等ニ關
シマスルヤウナコトハ省キマシタノデアリマシテ、若シソレ等ノコトニ付イ

テ御研究ノ必要ガアリマスルナラバ、ドウカ政府委員ニ御質問ニナラムコト
ヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決イタシマ
ス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○田中芳男君 贊成

「其他「贊成」ト呼フ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 鍋島子爵ノ直ニ二讀會ヲ開クト云フ說ニ對シテ御
異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ第二讀會ヲ開キマス、全部問題ニ供シマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 特別委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマ
ス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

「贊成」ト呼フ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通り御異
存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ可決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、感化法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、徳川伯爵

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十五日

右特別委員長

伯爵 徳川 達孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵徳川達孝君 感化法中改正法律案特別委員會ノ輕過疏ニ結果ヲ御報道イタシマス、此委員會ハ三回開キマシテ慎重ニ審議ヲ致シマシタ、此法ノ今般改正ニナリマスル所ノ理由ノ大體ヲ申シマスレバ、諸君ニ於テモ御承知ノ通リ刑法ガ改正セラレ、刑法施行法モ實施サレルニ付イテハ新刑法ノ第四十一条ニハ十四歳未満ノ者ノ行爲ハ之ヲ罰セズト、斯ウ云フコトガ載ッテ居リマス、ソレカラ又此新刑法ニ依レバ是マデハ懲治場ニ入レテ懲治シテ置イタコトガゴザイマスガ、此後ハ此懲治場ノ制ヲ廢スル、然ラバ此犯罪行爲ヲシタ所ノ不良少年ヲ如何ニ感化スルカト云フ問題ニナル、ソレ故ニ此感化院ニ收容シテ強制的ニ保護教育ヲサセナケレバナラヌ、現今ト雖モ感化法ガゴザイマスガ、此感化法トハ大分範圍ヲ廣クセラレマシタ、ソレガ第二、第三ハ從來、感化院ノ設立ト云フモノハ地方ニ任カシテアル、併シ今申ス如クニ多クノ不良少年ヲ收容スルニ付イテハ感化院ノ數ヲ増サナケレバナラヌ、成ルタケ之ヲ早く持ヘナケレバナラヌ、ソレニハ相當ニ國庫カラ補助ヲシテ其設立ヲ獎勵スル、第四ニハ不良少年ノ中、或ハ其年齢、若クハ其行爲ノ性質ニ依ッテ國立ノ感化院ヲ創立シテ之ニ收容スル爲ニ國立感化院ト云フモノヲ設立シナケレバナラヌ、第五ニハ此地方ノ狀況ニ依ッテ數縣共同ヲシテ一ノ感化院ヲ設立スル、第六ニハ是マデハ北海道並ニ沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トシテゴザイマシタノヲ、沖繩ノ方モ廳テ此府縣制ヲ施行セラレ、又北海道モ地方費法ノ發布ニ依ッテ是マデノニ現行感化法ノ第三條ヲ解除シナケレバナラヌ、先ヅ大體以上申述ベタ如キ理由デ、今般改正ニナル次第ゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ種々質問モゴザイマシタシ、鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ審議ヲ致シマシタ、委員ノ或ル方ニ於キマシテハ、本案ヲ賛成スル所ノ意見ヲ述べ、併

セテ將來ニ於ケル希望ヲ述ベタ御方モゴザイマスカラ、其事ヲ極ク大體ヲ申モナク、至シテ單純ノモノノヤウニ見エル、併ナガラ此感化ト云フコトバ、ナカナカ此國民ノ不良少年ヲシテ善良ニ導カセル所ノモノデゴザイマシテ、重大ノモノデアル、現今墮落書生ガ大分多イヤウナ有様デアル、隨分不良少年モアリ、中ニハ犯罪行爲ト云フ程ニ至ラズシテ不良ノ行爲ヲスル所ノ者モアリ、又中ニハ犯罪行爲ヲスル所ノ者モアル、サウ云フ場合ニ於テ、一方ニハ新刑法ガ實施セラレテ十四歳未満ノ者ハ罪ヲ問ハヌ、又懲治場ニ入レルコトモ止メルコトニナル、斯ノ如キ有様デハ勢ヒ此感化法ト云フモノヲ改正シテ感化シナケレバナラヌ必要ガアル、勿論又態ニ感化院ニ入レナクテモ家庭ニ於テ十分ニサウ云フ不良少年ハ教育シテ行カナケレバナラヌト云フ譯デアラウト云フ確信ハアリマスケレドモ、ナカナカドウシテ此多クノ國民ノ數デゴザイマスカラ、サウ云フ事ハ出來ナイ、故ニ已ムヲ得ズ此改正ノ第五條ノ一カラ三マデノ理由ニ依ッテ感化院ニ入レナケレバナラヌ、ソレ故ニ此感化院ヲ多ク持ヘル、又國立感化院ト云フモノガ出來ルノモ結構デアル、ソレ故ニ大體ニ於テハ本案ハ贊成スベキモノデアル、併シ能ク其改正ノ理由ヲ承ハリ、又改正案ヲ見ルト云フト、大分不完全ノ點モアル、是ハ何カト申セバ、其一例ヲ申セバ國立感化院ヲ設ケルト云フコトガ改正案ニ載ッテ居ル、併ナガラ何所へ國立感化院ヲ持ヘルカ、其國立感化院ノ豫算ハドウデアルカト云フ所マデハ、マダ決定セヌ、マダ決定セヌコトヲ豫メ此改正案ニ載セテ置クト云フコトハ、少シク空中樓閣ヲ描クト云フヤウナモノデハナイカト云フ疑ガアル、且ツ大分内容ニ於テモ不完全ナ點ガアリマスガ、此會期切迫ノ場合ニ於テ此改正案ニ對シテ修正ヲ加ヘルトスルト、幸ニ實ニ完全ナ修正ガ出來レバイザ知ラズ、サウ十分デナイ修正ガ出來テ、衆議院ト協議會ヲ開イテ幸ニ不完全ナガラモ其修正ガ成立テバ兎モ角モ、若シ成立タヌ場合ニ於テハ此改正案ト云フモノハ不成立、然ルトキハ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フ所ノ嫌ヒガアツテ折角、新刑法ノ實施ニ伴フ此改正ガ出タニモ拘ラズ、ソレガ不成立ニナッテハ、寧ロ不完全ナガラニモ此所ニ出テ居ル所ノ改正案ノ方ガ宜イト云フコトニナル、故ニ又之ヲ改正スルニハ、他日政府ニ於テモ段々熟考シタ上デ差支ノ點ヲ發見スレバ出來ルノデアル、兎モ角モ會期ノ切迫ノ場合故ニ不完全ナガラモ先づソレヲ忍ンデ贊成ヲシテ本案ヲ可決シタイモノデアルト云フ、斯

ト云フコトハ頗ル煩ハシイ、又甚ダ不便ヲ來タシタノデアリマス、其譯ハ第一ニハ此厘錢ガ缺乏シテ居ルコトデアリマシテ、ソレハ銅ノ價格ガ騰貴スルニ連レテ鑄潰シガ多クナリマシテ、今日ノ金融社會ニハ殆ド其姿ヲ絶ツタヤウナ有様デアリマスルカラ、其供給ノ途ノ絶エタル厘錢ヲ以テ取引ヲスルト云フコトハ困難ト云フヨリモ寧ロ出來ナイコトトナツタノデアリマス、因ツテ此厘位ヲ單位トスルコトヲ廢シマシテ、改メテ五厘ヲ單位トスルコトガ此度改正案ヲ提出サレタ重モナル理由トナツタノデアリマス、因ツテトナリマスレバ、五厘錢ナレバ今日ノ所デハ流通高ガ凡ソ二百萬圓デ、其數ガ四億萬ホド有リマスルカラシテ、敢テ需要ニモ差支ヲ生ズルコトハ無カラウト存ジマスシ、又ソレデモ拂底ノ場合ニハ貨幣法ニ據リマシテ增鑄ヲモスルコトガ出來マスカラシテ、此改正ニ依ツテ取引モ無事ニ行ハレマスシ、計算モ常ニ五ト五ガ對シテ計算ニモ簡易ニナリマスカラシテ、此改正ハ實際ニ於テ適當ナコトト認メマシタ次第デゴザイマス、併ナガラ經濟社會ノ情態ヨリシテ見マスレバ最早厘位ハ殆ド看做シテ居ラナイノデアリマシテ、切捨テルノガ當然ノ風トナツテ居リマスカラシテ、寧ロ此際、本案ニ一步進ンテ五厘ト言ハズシテ一錢トスルノ錢位單位ニモシタイトモ思ハレルノデアリマスガ、是ハ又實際ニ於キマシテ今日俄ニサウ云フコトハ望マレナイコトデアリマスナゼナラバ地租ハ多クノ場合ニ於キマシテハ厘位ノ端數ガ付イテ來ルモノデアリマスカラシテ、ソレヲ悉ク切捨テマシタナラバ直ニ國庫ノ收入ノ上ニモ影響ヲ來タシマスル、又地方公共團體ノ課稅額モ減少ヲ來タシマスルシ、又中ニハ公民權ノ資格ヲモ失フ者ガ出來ルヤウナコトガ有リマスカラシテ、先づ實地ニ於テ斯様ナコトノ出來ナイ餘リ差當リノ無イ此五厘ノ程度ニ置クト云フコトハ審査ノ上、最モ穩當ナル處置デアラウト認メタノデアリマス、又此第四條ノ改正ハ例ヘバ僅ナル山林ヲ所有シマシテ、其地價ハ一錢ニモ満タザルモノガアリマスカラ、ソレヲ此度ハ切上ゲテ一錢トスルノデアリマシテ、御承知ノ如ク地價ニ百分ノ幾ツト云フ率ヲ課ケマシテ地租が出ルコトデアリマスカラシテ、其課稅ノ標準タル地價ヲ一筆八厘トカ、若クハ九厘トカ云フヤウナ端數ニシテ置キマスコトハ、唯徒ラニ計算ヲシテ錯雜ニ陷ラシムルト云フバカリデアリマスカラ、ソレヲ計算ニ便利ナル爲ニ一錢ニ切上ゲルト云フコトハ是又適當ナコトト認メマシタコトデゴザイマス、委員會ハ以上ノ理由ニ依リマシテ、此改正案ヲ適當ナリト認メマシテ一ノ異議ナク直ニ可決ニ

相成リマシタコトデゴザイマス、此段御報告申上グマス、ドウカ本案モ極ク簡單ナ案デアリマスカラ、讀會ヲ省略セラレテ直ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○子爵本多忠敬君 贊成

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○子爵鍋島直彬君 贊成

○大谷嘉兵衛君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 「其他「贊成」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 松木伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガアツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 原案御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ可決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 三分ニ戻リマス、船越男爵

○議長(公爵德川家達君) 左様デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 「男爵船越衛君演壇ニ登ル」

○議長(公爵德川家達君) 矢張リ演壇デ

○男爵船越衛君

○男爵船越衛君 「男爵船越衛君演壇ニ登ル」

○男爵船越衛君 私ハ先刻、感化院法案ノ節ニ贊成ヲ表シテ尙ホ希望ヲ内閣大臣ヘ述べテ置キタイト申述ベマシタ、當時大臣ガ御出席ゴザイマセヌ、唯

今御出席ニナリマシタ、一應述ベマスガ、感化院ニ關聯シテ述ベルノデゴザイマスカラ、ドウズ其邊ハ御承知置キヲ願ヒマス、感化院ノコトハ法案ハ私ハ贊成デアル、贊成デアルガ、此費用ノコトニ付イテ委員會デ政府委員ニ凡ソドノ位ノ入費デアルト云フコトヲ尋ネマシタガ、マダ入費ハ能ク調査シナイカラ分ラナイ、何レ此次ノ議會へ追加豫算デ出ストカ、ドウカシヤウト思ツテ居ル、

○伯爵吉井幸藏君 贊成

○田中芳男君 贊成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ二讀會ハ終リマシタ

○伯爵徳川達孝君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ三讀會ヲ開キマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ三讀會ヲ開キマス、原案御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第五、肥料取締法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、田中君

肥料取締法改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
明治四十一年三月二十五日

右特別委員長

子爵 一柳 末徳

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔田中芳男君演壇ニ登ル〕

○田中芳男君 本案ハ昨日、委員長副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ直ニ會議ヲ開キマシテゴザイマス、今日ハ委員長ガ御病氣ノ爲ニ不肖代リマシテ昨日ノ結果ヲ御報告イタシマス、昨日委員會ヲ開キマシタニ付キマシテハ、政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ直ニ會議ヲ始メマシテ、種々ナル質問ガアリマシテ、大抵今日マデ皆サンノ御考ガアリマシタ邊ノ所ハ質問ヲ終リマシテ、ソコデ此質問ニ付キマシテ別ニ考ヲ附ケル程ノ質問モナカッタ、唯事柄ノ分ラヌコトヲ質問シタカ、或ハ範圍ヲ質問シタ位ノコトデ、決シテ反對等ニ互ッタ質問ハ無カッタデス、ソレユエ委員會ノ結果ハ此案ハ原案ノ通リ可決シテ宜シトイ云フコトニナリマシテゴザイマス、餘リ速ニ可決シタヤウデゴザリマスケレドモ、一ト通リ眼ヲ通シマシテ、且ハ又不審ノ廉ハソレソレ質シマシテ、原案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、サテ此肥料ノコトニ付キマシテ一言申上ゲテ置キマスデゴザイマスガ、肥料ト云フコトハ皆様御承知ノ通リ從來已レノ家デ出來ル所ノ糞尿ヲ用ヰル位ガ主デアリ、其他鰯滓、干鰯、メ滓等ノ種類ヲ用ヰテ居リマシタノガ從來ノ慣例デアリマス、所ガ段々ト肥料ガ騰貴ヲシテ參リ、一方人智ノ進ムニ從ヒマシテ、ドウシシテモ從來ノヤウナ肥料ノ用ヰ方デハ效能ガ無イ、且又特種ノ物産ヲ造ル時ニハドウシシテモ特種ノ肥料ヲ用ヰニヤナラスト云フヤウナコトガ起リマシテ、次第ニ學識經驗ニ富ンダル曉ニ、最早今日マデノ在リ來リノ肥料デハイカヌカラ、一ツ製造セニヤナラヌト云フコトカラ製造ニ手ヲ著ケマシタノガ、維新前モアリマシタケレドモ、先ヅ維新後次第ニ進ンデ參ッテ、明治十五六年頃カラ漸ク人造肥料ノ端緒ガ開カレタヤウナモノデゴザイマス、然ルニ段々人造肥料ガ起ツテ參ッテ、明治二十年頃ニナリマスト餘ホド世間ニ人造肥料ト云フモノガ顏ヲ出シカケタケレドモ、マダマダ之ヲ使用スル人ガ少シ、又製造高モ少イ故ニ、ソレニ對シテ不都合ナル處置ト云フモノハ見出セナカッタデアリマスケレドモ、其後ニ至リマシテ愈々世間ニ粗製濫造ト云フコトガ起ツテ參ルヤウニナッタ、例ヘバ油糟ノ如キモノハ油糟製造人ト云フモノガ出來テ一種ノ油糟ヲ搾ヘル、又其油糟製造人ニ、ソレニ用ヰル所ノ材料ヲ賣ル問屋ガアルト云フ次第デアル、又人造肥料即チ磷酸肥料ノ如キモノ儀ニ詰メテ出ス粉デアルカラ、其粉ノ中ヘ種々ナ物ヲ入レテ、サウシテ肥料ヲ殖ヤシテ、磷酸肥料ノ

ヤウナモノヲ拵ヘテ賣ルト云フヤウナコトデ、明治三十年頃ニナリマスト餘ホド其弊ガ激シクナッテ參リマシタ、ソレ故ニドウモ是ハ取締ヲセネバナラヌト云フコトニナッテ、三十二年ニ法律ガ出來マシタ、即チ現行ノ肥料取締法デアル、併シ此實施ハ一年以上後レマシテ、三十四年ノ十二月一日カラ實施ニナッテ居リマス、所ガソレガ出マシタニ付イテハ餘ホド取締ガ出來タニハ違ヒナイ、併ナガラ製造人ノ方ハ惡ル智慧ガ附イテ種々ナ奸策ヲ用ヰルト云フコトモ出來、又人造肥料會社ガ殖エル爲ニ互ニ衝突軋轢シテ、終ヒニハ中傷的ノ事マデモヤルヤウニナッテ參ツタ曉デアリマスカラ、ナカナカ從前ノ取締法デハ取締リ切レヌ、又今日マデ不十分ナ點ガアル爲ニ其適用モ不十分デアッタ、ソレユエ今ノ儘デ置キマシテハ愈、實業家ヲ惱マセ不正處分ノ正案ハ從前ノ現行法ニ比シテ如何達ツテ居ルト言ヒマスルト、從前ノ現行法ハ條數モ少クテ漸ク十條ニナッテ居ル、サウシテ別ニ施行法ガ付イテ居リマス、故ニ省令デ出タモノニ依ツテ處分シテ居ッタ、省令デ出マシタ所ノ取締ニ關係スル所ノ施行規則デハ十分ニ效力ガ無イト云フ所カラ、此度ハ施行規則ニアリマス事柄モ法律ノ中ニ入レタ故ニ法律ノ條項モ殖エマシテ十四條ニナリマシタ、從前ニ比シテ四條殖エタノミナラズ從前ノ缺ケタル所ヲ能ク補ヒ、又施行規則ナドニアリマシタコトデ實ハ法律ニ入レテ置カネバ效力ノ無イト云フコトナドハ今度法律ニナリマシテゴザイマス、今度ノ案ノ重モダッタ點ヲ申シマスレバ、第一條ノ如キ又第三條ノ如キ、殊ニ第四條ノ如キニ至リマシテハ、保證票ト云フノガ載ツテ居ル、保證票ト云フノハ從前ナインデハナイ、取締法ノ施行規則ノ方ニハアリマスケレドモ法律ニナイ、ソレユエ此保證票ナドノ拵ヘ方ハ誠ニ勝手ナモノヲ拵ヘテ入レルコトニナッテ居リマシタ、從前トテモ保證票ハ大切ニ見テ居ラレタニ違ヒナイガ、如何セム法律デナイ故ニ人ガソレニ付ケ奸策ヲ用ヰタ云フコトニモナル、今度ハ保證票ニ重キヲ置カレマシタ故ニ、保證票ノ用ヰ方ニ依レバ大變ニ效能ガアラウト考ヘマス、現行法ヲ拵ヘマス頃ニハ人造肥料會社モ少シ、又輸入ノ肥料ト云フモノモ少カッタ故ニ、マアアレデ宜カラウト云フコトデアリマシタガ、當時ノ如ク斯ウ發達シテ參ツタ以上ハ、ナカナカ從前ノ現行法ノ通リデハ取締リハ立タナイ、故ニ法律ハ嚴ニスルヤウニモナリ、而シテ又検査スルト云フノガ從前ハ人ニ乏シイ、故ニ有合セノ人間ヲ以テソレニ當テタ、故ニ鑑定ス

ル者モ十分デナイ、又ソレニ要スル費用モ十分デナカツタ故ニ、ドウシテモ立派ナ人間ヲ拵ヘルコトモ出來ズ、又農商務省ニ於キマシテモ其他地方ニ於テモ之ニ要スル費用ノ足ラヌ故ニ、ドウシテモ十分ナコトハ出來マセナンダ、ソレ故ニ今度法律ガ制定ニナリマズニ付イテハ費用ヲ要シマスカラシテ、追加豫算トシテ五萬圓以上ノモノガ請求シテゴザイマス、ソレユエ此案ガ通過イタシマシテ其一方追加豫算ニ出テ居ル所ノ五萬圓以上ノ金ガアリマスレバ先ヅ十分ナ取締ガ出來ル、又人間モ立派ナ人ガ段々養成シテ參レルコトニナリマスデゴザイマス、其人間ヲ拵ヘマスニハ即チ農商務省ニ於テソレソレ養成シテ居リマス故ニ、段々立派ナ者ガ出來テ行クヤウニナリ、地方デモ亦ソレダケノ人ヲ用ヰテ取締ヲスルヤウニナリマスカラ、先ヅ此案ガ出マスレバ從前ニ比シテ大ニ宜カラウト思フノデアリマス、一番茲デ取締ノ必要ナ所ハ製造者ガ粗製濫造ヲヤラヌヤウニ、又販賣者ガ其中ニ入ツテ不正ノ處分ヲセヌヤウニ、農業者ヲシテ益々便宜ヲ得セシメ、又製造家ノ立派ナモノニハ保護ヲ致シテ益々成リ立ツヤウニシテヤラウト云フヤウニナルノデアリマスカラ、從前ノヤウナ弊ハ無イト云フ見込デアリマス、立派ニ弊ノ無イヤウニシテ貰ハナケレバナラヌ、而シテ御承知ノ如ク人造肥料ノ如キモノハ粉デアリマスカラ不正ノ處分ヲ勵キ易イ、故ニ今度ハ保證票ヲ作ルノミナラズ、取締モ十分出來マスカラ、先ヅ是レナラ安全デアラウト云フ考デアリマス、而シテ此法律ハ何時カラ實施スルト云フコトヲ承ツテ見レバ本年ノ七月頃ヨリ実施シタイ希望デアルト云フコトデアリマス、故ニ先ヅ此法ガ出マシテ三四箇月ノ間ニ準備ガ出來テ實施サレルコトニナレバ從前ニ比シテ一層效力ガアラウト思ヒマス、今申シマシタ通り效力ノアルノハ其人ニアルノデアリマスカラ、検査官ヲ造ルコトモ必要ノツデアリマス、又之ヲ適用スル官吏モ其邊ノコトヲ能ク注意セネバナラヌ故ニ、其邊ノ所ハ委員會ニ於キマシテハ政府委員ト申合セテ、是ダケガ通過シタナラバ十分效力ノアルヤウニ注意ヲシテ下サイト云フコトヲ固ク約束ヲシテ置キマシタカラ、先ヅ是デ宜カラウト思ヒマスカラ、皆様御異議ガ無ケレバ速ニ此案ヲ御贊成クダサルヤウニ願ヒマス

○三宅秀君

質問イタシタウゴザイマス、此案ハ衆議院モ通過シテ參ツテ居

リマス案デアリマスカラ、聊カバカリノコトヲ修正ナドハ強ヒテ申立テマセケレドモ、委員會ニ於キマシテハ第一條ノ「植物ノ營養」ト云フ營ノ字ガ

「イトナム」ト云フ文字ニナッテ居リマス、「イトナム」ト云フノト「サカユル」ト云フノト是マデニツ用ヰ來ツテ居リマスガ、何故ニ「サカユル」ト云フ字ヲ用ヰズニ「イトナム」ト云フ字ニナッテ居リマスカ、其邊ハ委員會デ質問デモ起ツテ、確實ナル理由ニ依ツテ「イトナム」ト云フ字ニナッテ居リマスカ、委員長ニ承ハリタウゴザイマス

○田中芳男君 御答ヲ致シマス、「營養」ト云フ字ハ別段ニ研究イタシタノデモナシ、原案ニ書イテアル文字ガ宜カラウト思ツテ存シテ置キマシタノデアリマスカラ、「營養」ト云フ文字ガ惡ルイト云フ論ガアレバ別論、然ラザレバ

政府ノ案デアリマスカラ、御異議ガアリマスナラバ政府へ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○田中芳男君 直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○周布公平君 贊成

○男爵關義臣君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 田中君ノ第二讀會ヲ開クト云フ說ニ對シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、特別委員長報告通リデ御異存ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、特別委員長報告通リデ御異存ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、コレデ第二讀會ハ終リマシタ

○周布公平君 贊成

○男爵關義臣君 贊成
〔其他賛成ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ可決セラレマシタ出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、新莊子爵

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六、官吏恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、新莊子爵

官吏恩給法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十五日

右特別委員長

子爵 新莊 直陳

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵新莊直陳君演壇ニ登ル〕

○子爵新莊直陳君 官吏恩給法中改正法律案ノ特別委員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、此委員會ハ昨日午後ニ開キマシテ即日議了イタシマシタ、本案ハ官吏恩給法中第十三條ノ改正デゴザイマシテ、其十三條ニハ官吏ニシテ其職ヲ辭シマシテ、東京市、京都市、大阪市、北海道ノ區長トナリマシタ場合ハ恩給ヲ受クルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ先般發布ニナリマシタ勅令ノ沖繩縣區制ニ依リマスル所ノ區長及居留民團ノ民長、助役、會計役モ同ク官吏ヲヤメマシテ此區長、民長及助役、會計役トナリマシタ場合ニハ、同ク恩給ヲ受クルノ資格ヲ保有セシムルト云フノ改正案デゴザイマシテ、審査ノ結果、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、御覽ノ通り本案ハ至ツテ簡單ナ案デモゴザイマスシ、會期モ切迫ノ今日デゴザイマスル、讀會省略ヲ致シマシテ

○子爵伊集院兼知君 贊成

○中島永元君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○岩村兼善君 賛成

「其他」賛成ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 新莊子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガア
タト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌ
カ

「異議ナシ」ト呼フ者ナリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七、明治三十九年度豫備金支出ノ件外六件ノ特別委員會
承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、第八、明治三十九年度豫備金外ニ
於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、
第九、明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、
衆議院送付、第十、明治三十九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算
外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、第十一、明治三十九
年度清國事件第二豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、
第十二、明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、政府提
出、衆議院送付、第十三、臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件、承諾ヲ求
ムル件、政府提出、衆議院送付、會議、委員長報告、大炊御門侯爵

一明治三十九年度豫備金支出ノ件
一明治三十九年度豫算超過及豫算外支出ノ件

一明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件
一明治三十九年度清國事件第二豫備金支出ノ件
一臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十一年三月二十五日

右特別委員長

侯爵 大炊御門幾麿

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔侯爵大炊御門幾麿君演壇ニ登ル〕

○侯爵大炊御門幾麿君 明治三十九年度豫備金支出ノ件外六件ノ特別委員會
ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上グマス、固ヨリ政府ノ明細ナル説明書ガゴザイ
マスルカラ、滿場諸君ニ於カレマシテモ親シク御承知ノ事ト存ジマスルカ
ラ、極ク簡略ニ要領ヲ申上グルコトニ致シマス、此明治三十九年ノ豫備金支
出ノ件外三件ノモノハ誠ニ紙數モ多ウゴザマスル、從々テ種々質問モゴザイ
マシタケレドモ、格別不都合ト認ムル點モゴザイマセヌデ、全部承諾ヲ與ヘ
ルコトニ決シマシタ、ソレカラ次ニ明治三十九年度清國事件第二豫備金支出
ノ件、是モ全ク時局ノ上カラ已ムヲ得ズ支出ヲセラレマシタノデアリマシ
テ、其次ノ明治三十九年度臨時事件豫備金支出ノ件、是モ同様、三十七八年
事件後ニ臨時ノ必要ノ場合ガゴザイマシテ、是亦委員會ニ於キマシテハ承諾
ヲ與ヘルコトニ決シマシタ、一番終リノ臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ
件、是ハ海軍ノ方ニ於キマシテハ戰後、造船、造兵若クハ捕獲艦船ノ修理、
復舊トカ、又陸軍ニ於キマシテハ、馬匹、兵器、被服、糧秣ナドノ爲ニ豫算
ニ超過ヲ致シマシタ次第アリマス、併ナガラ何レモ萬已ムヲ得ナイモノト
認メマシテ、委員會ニ於テハ全部承諾ヲ致スベキモノト決シマシタ、尙ホ各
省ニ互ツテ御質問等ガゴザイマシタラバ政府委員ヘ御質問アラムコトヲ希
望イタシマス、私ハ是ダケ御報告イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、唯今特別委員長ノ報告ヲ致サレ
マシタ諸案ニ對シテ承諾ヲ與フルト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、民事訴訟法中改正法律案、衆議
院提出、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

民事訴訟法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月二十四日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

民事訴訟法中左ノ通改正ス

第四百四十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

判決ヲ破毀スル場合ニ於テハ第四百五十一條ノ規定ヲ除ク外更ニ辯論及

ヒ裁判ヲ爲サシムル爲メ事件ヲ控訴裁判所ト同等ナル他ノ裁判所ニ移送

ス可シ但訴訟手續ニ關スル規定ニ違背シタルニ因リ判決ヲ破毀スルトキ

ハ之ヲ控訴裁判所ニ差戻スコトヲ得

同條第二項及第四百五十條中「差戻又ハ移送」ヲ「移送又ハ差戻」ニ改ム

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項ニ「女子及」ヲ削ル

○伯爵柳原義光君 此案ニ付イテ質問ヲ致シタウゴザイマスガ、宜シウゴザ

イマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス……唯今、政府委員ヲ呼ビニ遣

ハシマシタカラ、暫ク御待チヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御異議ガゴザイマセケレバ、議事日程ノ

第十八ハ政府委員ノ出席ニナルマデ待チマシテ、議事日程ノ第二十ノ方ヲ先

キヘ議シテハ如何デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

明治四十一年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

裁判所及臺灣總督府法院ニ於テ爲シタル民事ノ判決及私訴ノ判決ハ臺灣及

内地ニ於テ民事訴訟法第五百十四條並第五百十五條第一項及第二項第一號、第二號ノ規定ニ準シ強制執行ヲ爲スコトヲ得

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、特別委員ノ選舉ニ移リマス、是モ議長ガ選定ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

治安警察法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

同條第二項及第四百五十條中「差戻又ハ移送」ヲ「移送又ハ差戻」ニ改ム

治安警察法中左ノ通改正ス

第五條第二項ニ「女子及」ヲ削ル

○伯爵柳原義光君 此案ニ付イテ質問ヲ致シタウゴザイマスガ、宜シウゴザ

イマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス……唯今、政府委員ヲ呼ビニ遣

ハシマシタカラ、暫ク御待チヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御異議ガゴザイマセケレバ、議事日程ノ

第十八ハ政府委員ノ出席ニナルマデ待チマシテ、議事日程ノ第二十ノ方ヲ先

キヘ議シテハ如何デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

明治四十一年三月二十五日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

裁判所及臺灣總督府法院ニ於テ爲シタル民事ノ判決及私訴ノ判決ハ臺灣及

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十三日

右特別委員長

子爵鍋島直彬

貴族院議長公爵德川家達殿
〔子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル〕

○子爵鍋島直彬君 本案特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、本員ハ化學上ノ事ハ殆ド無知識ノ者デゴザイマシテ、政府ニ於テモ此衆議院ノ提出案ニハ同意ヲ表セラレテ居ルト云フコトヲ承ハリマシテ、政府委員ノ説明ヲ求メマシタ、ソレデ此案ノ提出ノ理由ヲ了解シ得タノデゴザイマス、諸君ハ能ク御承知ノ事ト存ジマスガ、此醋酸、醋酸石灰、「アセトン」、此三ツハ醋酸石灰ガ原料トナッテ、醋酸、「アセトン」ト云フモノガ出來マスルト申スコトデゴザイマス、醋酸ハ政府委員ノ説明ニ依リマスト、近年マデハ全ク此外國ノ輸入品ニ仰イデ居リマシテ、其一部ハ即チ飲食用ノ原料、即チ酢ノ原料トナリマス、又一部ハ工業用ノ種々ノ事ニ供セラレマス、先づ此三分ノ二ハ飲食用ニ供セラレ、三分ノ一ハ工業用ニ供セラレテ居ルト云フ位ナ割合ダサウデゴザイマス、其工業用ニ用ヰルト云フノハ、重モニ染物ニ使ヒマスルノデゴザイマシテ「アセトン」ハ火薬ノ製造ニ必要ナモノデ、其他工業用ニ用ヰラルモノデアルト申スコトデゴザイマス、現行ノ關稅定率法ニ掲ゲテゴザイマスルノハ醋酸ダケデゴザイマス、此醋酸石灰、「アセトン」ト云フヤウナモノハ、其他ノ諸藥劑、化學用ノ製藥、斯ウ云フヤウニ概括シタル名稱ノ中ニ包含サレテ居ルノデゴザイマス、其故ハ醋酸石灰、「アセトン」ノ輸入ノ量ガ極少カッタノデゴザリマシテ、追ミト輸入ノ量ガ近年ニナッテ増シマシタノデゴザイマス、然ルニ内地ニ於テ段々ト此醋酸製造ヲ始メマシテ、其製造ヲ致シマスニハ醋酸石灰ガ必要デゴザリマス、其醋酸石灰ノ製造ハ木炭ヲ燒キマスルトキニ炭竈ノ煙ヨリ取りマシテ、ソレヨリ醋酸石灰ガ出來ルノデケレドモ何分小規模ノ工業デゴザリマシテ、其數量ガ至ツテ僅少ナモノデゴザイマス、内地デ醋酸ヲ製造イタシマシテ外國ヨリ醋酸ノ輸入ヲ防グマデニハ餘ホド多クノ醋酸石灰ガ無ケレバナリマセヌノデゴザイマス、隨分輸入ノ醋酸石灰ノ稅率ヲ低クシテ醋酸及「アセトン」ノ稅率ヲ高メマスルトキニハ輸

入ノ醋酸石灰、即チ輸入ノ原料ヲ用ヰテ醋酸及「アセトン」ヲ製造スル所ノ事業モ追々發達ノ出來ルコトニナリマス、而シテ一般ノ需要ヲ充タシテ漸次ニ外國ニ仰ガズトモ宜シヤウニ至ルデアラウ、是ガ稅率改正ノ大體ノ理由デゴザイマス、然ルニ委員會ニ於テ此輸入ノ醋酸石灰ノ稅率ヲ減ジテモ内地ノ炭燒竈ヨリ取ツテ製造スル所ノ醋酸石灰ヨリハ輸入ノ醋酸石灰ハマダ餘ホド高價デアル、ソレ故ニ決シテ木炭製造ニ伴ヒ醋酸石灰ヲ製造シテ居ル者ニ打撃ヲ與フルト云フヤウナ虞ハ萬無イノデアル、斯ウ云フ説明デゴザリマシタ、ソレ故ニ委員會ニ於テハ内地ノ目下ノ製造ヲ妨げズシテ其上ニ低價ノ輸入原料ヲ用ヰテ、内地ノ原料ノ不足ヲ補ヒ、盛ニ醋酸及「アセトン」ヲ製造シテ輸入品ヲ防グニ至ツタナラバ誠ニ此改正案ハ適當ノ改正案デアッテ、結構ナ改正案デアル、斯ウ云フ趣意ヲ以チマシテ、全會一致ヲ以テ可決スベキモノナリト議決イタシマシタノデゴザリマス、委員會ニ於テハ少シノ議論モ無ケレバ何ニモゴザイマセズ、直ニ議決イタシマシタヤウナコトデゴザイマス、斯様ナル案デゴザイマスル故ニ何卒讀會ヲ省略セラレテ直ニ議決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 本員ハ少シ質問イタシタウゴザイマス、唯今委員長カラ此内地ノ醋酸製造ハ其筋ニ於テ大ニ獎勵シツツアルト云フコトニ承ハリマシタガ、果シテ如何ナ獎勵ヲナサツテ居ルヤト云フコトヲ政府委員ニ御尋不致シタウゴザイマス、然ルニ又政府委員ガ御出ガナイト是モ中絶イタシマスガ、何卒政府委員ノ御出席クダサルヤウニ御求メヲ願ヒマス、委員長ニハモウ是デ申上グマセヌ

○子爵鍋島直彬君 ドウゾ政府委員ニ御質問ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 柳原伯爵ニ伺ヒマスガ、柳原伯爵ノ議事日程ノ第十八ニ對スル質問ハ第一讀會ノ續、特別委員長報告ノ時ニモ質問ガ出來マス譯デゴザイマスガ、委員付託ニナッテハ非常ニ御異論デモアリマスカ

○伯爵柳原義光君 ヒトイ差支ハアリマセヌガ、成ルベク委員付託ニナリマス前ニ此案ニ對スル政府委員ノ意嚮ヲ一應聽キタイト考ヘマス

中君ノ質問ノ御要求モゴザイマシタガ、政府委員ハ見エラレマセス、柳原伯爵ノ質問ニ對スル政府委員ハ今、出席セラレマシタカラ、又議事日程ノ第十
八ニ戻ツテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八ニ戻リマス、柳原伯爵、此際御質問ヲ願ヒマス

○伯爵柳原義光君 私ガ治安警察法中改正案ニ就イテ政府委員ノ意図ヲ一應確カメテ置キタイノハ、此案ハ現ニ昨年モ衆議院ヲ通過シテ、サウシテ本院ニ於テハ否決ニナシタモノデアリマス、其當時ニ於ケル政府委員ハ矢張リ反対デアッタヤウニ思ヒマスルガ、詰リ此案ハ現行規則ニ依リマスルト「女子及未成年者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若クハ其ノ發起人タルコトヲ得ス」出來ナイト云フ規定デアルノヲ改メテ、女子ニモ許サウト云フノガ、此案ノ主眼ト思ヒマスガ、矢張リ政府委員ハ依然トシテ昨年ノ如ク此案ニハ御反対デアリマスレバ、何故ニ御反対デアルカ、一應委員付託ニナリマス前ニ其理由ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員古賀廉造君演壇ニ登ル〕

○政府委員(古賀廉造君) 唯今ノ御質問ニ御答イタシマス、御承知ノ如ク本案ニ付キマシテハ昨年モ一旦提出ニナシテ政府ハ之ニ反対ノ意見ヲ述べ置キマシタ、今年ニ於テモ矢張リ政府ノ意見ハ同ジコトデアリマシテ、本案ニハ反対デアリマス、其反対ノ理由ト致シマスル所ハ第一ニ女子ガ政談集會ニ會同シ若クハ其發起人タルコトガゴザイマスレバ、從ツテ家庭内ニ於テ政治ノ思想ト云フモノガ勃興シマシテ、之ガ爲ニ家庭内デ瓦ニ政治ノ意見ノ衝突來タシ、一家ノ調和ヲ保ツコトガ出來ナイト云フ虞モゴザイマス、而シテサウシタカラト云ツテ國家ノ爲ニソレホド利益ハアルマイト思ヒマスカラ、是ニハ同意ガ出來ヌ次第デアリマス、又一步進ンテ論ジマスレバ、斯ノ如ク女子ニ此權利ヲ與ヘテ置キマスレバ、今度ハモウ一步進ンデ更ニ又他ノ權利ヲ主張スルト云フコトハ透キ見エタコトデアルト思ヒマス、旁々以テ反対ヲ致シマス

○伯爵柳原義光君 モウ一遍質問イタシタウゴザイマス、今ノ政府委員ノ御答辯ノ中ニ、更ニ進ンデ云々ト云フコトガアリマシタガ、是ハ私ガ政府委員ノ意図ヲ推察スルコトニ及ブコト思ヒマス、斯ノ如キ事ハ本員ハ全然女子ノ淑徳品位ヲ害スルモノデアルカラ、斷然是ハ許スベキモノデナイト信ズルノデアリマスケレドモ、單ニ政談集會ニ會同シ若クハ其發起人タルコトヲ許ス位ノコトハ一向差支ナイノミナラズ、現ニ貴衆兩院ノ議事ハ公開セラレタ政論政談ト云フコトバ、恐ラク誰デモ認メルコトデアルト思フ、所ガ其兩院ノ議事ハ差支ナイ事トシテ傍聴スルコトヲ許シ會同スルコトヲ從ツテ許シテ置キナガラ、一方ニ於テハ斯ノ如キ矛盾シタル規定ヲ設タルト云フコトハ、餘リ女子ノ権利ヲ侵害ラシ過ギタモノデアラウト思ヒマスル、又時勢モ餘ホド違ツテ進歩シテ居ルコトデアリマスカラ、女子ガ政談集會ニ會同シ又發起人トナル、ト云フヤウナ、謂ハユル「ハイカラ」主義ノ女子ガ出來ルコトハ分量ニ於テハ私モ希望イタシマセヌ、併シ人ノ女房トナツテ一家ノ平和ヲ保チ、家庭ヲ治メテ行クコトノ出來ル女子ガ自ラ澤山出テ來テ、又他ノ方面ニ於テ向女子ノ淑徳ヲ害スルコトハ無カラウト思ヒマスカラ、ソレ位ノ規定ハ御緩メニナシテ、何トカ政府委員ガ御反省ニナルコトガアレバ宜カラウト思ヒマスガ、一應此邊ノコトヲ伺ヒタウゴザイマス

○政府委員(古賀廉造君) 唯今ノ御質問ハ一應尤デアルト存ジマスケレドモ、貴衆兩院ノ傍聴トソレカラ治安警察法第五條ノ規定ノ政談集會ニ會同スルト云フ意味ハ少シ違フコトニナリハシナイカ、殊ニ又發起人タルコトニ至ツテハ女子自ラ進ンデ政談集會ヲ催スト云フ場合デアリマシテ、隨分政治思想ノ進ンダ行動ヲ是カラ女子ニ勵マスト云フコトニナレバ、ソレカラ延イテ第二ノ豫想ノ問題ニ這入ルコトハ到底免カレヌコトドラウト思ヒマス、私ハ先キノ方ノ防衛手段トシテモ是等ノ権利ハ許サヌ方ガ穩當ダト思ヒマス、是カラ以上ハ各自ノ意見ニ過ギマセヌ、政府ハ是ダケ答辯イタシテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 他ニ御發議モ無イト思ヒマスカラ特別委員ノ選舉ニ移リマス、是モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

民事訴訟法中改正法律案特別委員

子爵久留島通簡君 子爵毛利元忠君 子爵永井尙敏君

長谷部辰連君 男爵島津忠欽君 男爵淺野守夫君

何禮之君 秋月新太郎君 並木和一君

帝國ノ領土内ニ於ケル裁判ノ效力ニ關スル法律案特別委員

伯爵川村鐵太郎君 子爵平松時厚君 子爵酒井忠亮君

男爵佐野延勝君 馬屋原彰君 古莊嘉門君

櫻木嘉右衛門君 宮本谷藏君 堀之内庄右衛門君

治安警察法中改正法律案特別委員

伯爵大木遠吉君 伯爵柳原義光君 伯爵松平賴壽君

子爵松平忠禎君 男爵若王子文健君 男爵長松篤棐君

五十嵐敬止君 下郷傳平君 下村辰右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 是デ一應休憩ヲ致シマスガ、諸君ニ申上ダタイコトガアリマス、本日ハ御承知ノ通り本議會ノ最終ノ日デアリマスカラ、重要ナ議案モ唯今委員會デ審査中デゴザイマスルシ、又衆議院トノ協議會モ唯今協議中デゴザイマスカラ、ドウゾ御退院ノナイヤウニ御注意ヲ願ヒマス

午後零時五分休憩

午後一時三十五分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、田中君ニ申上ダマスガ、大藏省ノ政府委員ガ見エラレマシタカラ御質問ガゴザイマスナラ……○田中芳男君 先刻質問ヲ致シマシタデゴザイマスガ、……過刻特別委員長ノ鍋島子爵ヨリ委シク此醋酸石灰「アセトン」ノコトニ付イテ承ハリマシテ、其承ハリマシタ間ニ、此品ハ今輸入シテ居ルケレドモ内地デ段々出來ル、今政府カラ獎勵シツツアルカラ行ク行クハ日本ニ澤山出來タナラバ外國ニマデ出シテ行カウト云フ御見込デアリセウガ、今政府ハ如何様ナ御獎勵ニナッテ居リマスカ、ソレヲ承ハリタイ、尙又私ノ聞及ビマス所デハ、今日マデ醋酸石灰ト申シマスルモノハ多ク炭燒ガ拂ヘテ居ル、是ハ炭ヨリ出ル煙ヲ以テ醋酸

石炭ト云フモノヲ銘々ガ拂ヘルノモ宜イガ、サリトテ原料等ハイケヌ物ガアル、之ヲ使用スル人モ澤山ナイ、此製造家ト炭燒ノ醋酸石灰ト云フモノガ、イツモ價ニ於テ衝突シテ炭燒ノ方デハドウモ是デハ引合ハヌカラシテ詰ラヌ、又一方デハ拂ヘタモノガ良クナイカラ、アンナ物デハ仕方ガ無イカラト言ッテ値ヲ踏ンデサウ宜イ值ニハ買ヘヌト云フコトデ、折角發達シ掛ケテ居要者ニモ十分ニ用ヰラレルコトモ出來ズ、又良イ物モ碌々出來ヌト云フ譯デ、如何ニモ遺憾ニ思ッテ居リマスコトガアリマスガ、政府ニ於テ若シ醋酸石灰ヲ獎勵スル御見込ナラバ、其邊ノ所ニ付イテ何トカ宜イ御工夫ガナクシテ……我ミガ聞及シダ所デハ醋酸石灰ガ段々發達シテ行キ掛ケルヤウニ考ヘテ居リマスガ、其邊ノ所ハ如何様ニ御獎勵ニナッテ居ルヤラ承ッテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今、内地ノ醋酸石灰ノ製造ノコトニ付イテ御尋ネデゴザイマシタガ、私ノ承知イタシテ居リマスル所デハ、醋酸石灰ノ製造ヲヤッテ居リマス地方ハ、今日ノ所デハ靜岡縣ガ大分アリマスヤウデ、又其外ノ地方ニ於キマシテモ、段々ヤッテ居リマスコトヲ聞イテ居リマス、ソレデ農商務省ナリ、又府縣デドウ云フ方法デ獎勵ヲ致シテ居ルカト云フ御尋ねデアリマスルガ、御承知ノ通り醋酸石灰ノ製造ト云フノハ木炭製造ノ副業ト申シテ宜シヤウナモノデアリマシテ、其製造ノ方法ハ至ッテ簡単ナモノデアルノデゴザイマス、今日内地デ製造イタシマス醋酸石灰ハ御説ノ通り品質ガ精良ナルモノト申ス譯ニハ今日ハ參リマセヌケレドモ、製造ノ方法ヲバ炭燒ヲ致シマス者ニ能ク覺エサセマスレバ、此製造ハ簡単ナルコトデ、ムヅカシイコトハナイノデゴザイマスカラ、製造イタシタ所ノ醋酸石灰ハ相當ノ直段ニ賣レマシテ、利益ニサヘナルト云フコトガ見エマスレバ、全國到ル所ニ木炭ノ製造ト云フコトハアリマスカラ、今後石灰ノ製造ハ大ニ殖エルコトデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、唯今御質問ノ内地デ製造シマスル所ノ醋酸石灰ハ品質ガ惡ルイカラ醋酸製造業者ガ之ヲ用ヰルコトハ好マナイト云フ御説ガアリマシタガ、要スルニ醋酸製造業者ガ石灰ヲ用ヰルト用ヰヌトハ主トシテ直段ノ點ニアルノデアリマス、製造方法ガマダ十分デアリマセヌカラ、出來マスル所ノ醋酸石灰ニ色ミ其複雜物ガ加ハシテ居リマシテ、一貫目ノ醋

酸石灰ノ中、純醋酸石灰ハ百分中七十五クラヰニ今日出來テ居ルヤウデアリマス、是ハ製法ガ段々熟シマスレバ八十以上ノ良イ物ガ出來ルヤウニナラウト思ヒマス、サウ云フ次第デアリマシテ、醋酸製造業者ガ内地デ出來マス所

ノ醋酸ヲ使フト使ハヌトハ一ハ其直段ト云フノニ依ツテ岐レルノデアリマス、複雜物ガ這入ツテ居ル石灰デアッテモ、之ヲ廉ク使フコトガ出來マスレバ是ハ計算ニ合フコトデアリマスカラ、決シテ内地ノ製造品ヲ醋酸製造業者ガ使ハヌト云フコトハ無イト思ヒマス、ソコデ日本炭ノ製造ノ際ニ副業ト致シマシテ、醋酸石灰ヲ製造イタシマス、ソレガ一貫目凡ソ三十五六錢ニ賣レレバ製造業者ハソレデ十分ナル利益ヲ見ルト云フ計算デアリマス、所デ此案ニ依リマシテ、外國カラ參リマスル所ノ醋酸石灰ノ稅ガ廉クナリマス、是マデハ從價ノ二割ト致シマシタノガ、從價ノ五分ホドニナリマスカラ、外國カラ來マスル醋酸石灰ノ直段ガ廉クナリマシテ、ソコニ於テ或ハ内地デ製造スル所ノ醋酸石灰直段ノ釣合ガ取レナクナル、内地ノ醋酸石灰製造業者ガ打擊ヲ受ケルカドウカト云フ或ハ御心配ガアルカモ知レマセヌケレドモ、昨今輸入イタシマスル所ノ醋酸石灰ノ直段カラ計算ヲ致シテ見マスト云フト、改正案ノ如ク從價五分ニ致シマシテモ、外國カラ這入リマス醋酸石灰ハ一貫目凡ソ四十七錢八厘トナリマス、内地ノモノハ一貫目三十五六錢デ、製造業者ハ利益ヲ見テ製造スルコトガ出來マスルカラ、外國品ト内國品トノ間ニハ三十五錢ト四十七錢八厘、斯ウ云フ割合ニナツテ居リマスカラ、十分ニ内地ノ製造業者ハ今後製造ヲ續ケマシテ利益ヲ見テ行クコトガ出來ル、デアリマセウ、斯ウ考ヘテ居リマス、相當ナル利益ガ見エマスル以上ハ内地ノ製造業者モ追々發達スルト云フコトハ是ハ疑ヒナイコトデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵鍋島直彬君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 贊成

「其他」贊成ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

「其他」贊成ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○子爵鍋島直彬君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通リ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鍋島直彬君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通リ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵鍋島直彬君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 特別委員會ニ付託ニナリマシタ刑事訴訟法中改正法律案ノ委員會ヲ本日午前マデニ結了イタシマシテ、報告書ヲ差出シマシタガ、議事日程ヲ變更セラレテ、サウシテ、此際、本案ヲ院議ニ付セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

○男爵田健治郎君 讀會省略贊成

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

○伯爵萬里小路通房君 贊成

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

起立者 多數

〔其他賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 三好君ノ議事日程追加ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ刑事訴訟法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

刑事訴訟法中改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

三好 退藏

〔特別委員ノ修正ノミナ載錄ス字ハ修正文、——ハ削除ノ符號〕

第二百七十七條第一項中「三十日」ヲ「三十五日」ニ修正ス

同條第二項中「三十日」ヲ「三十五日」ニ修正ス

第二百七十八條中「十日」ヲ「十五日」ニ修正ス

〔裁判長ハ受命判事ヲ定ムルコトナ得
検事ニ非ナル者ノ差出ス趣意書及ヒ答辯書ニハ辯護士ノ

署名アルコトヲ要ス

〔受命判事ハ趣意書及ヒ答辯書ヲ檢閱シ其報告書ヲ作ル可シ
第二百八十二條 檢事ニ非ナル者辯論ヲ爲スニハ辯護士ヲ差出ス可シ
受命判事ハ辯論前其報告書ヲ朗讀ス可シ〕

第二百八十三條 檢事ニ非ナル者辯論ヲ爲スニハ辯護士ヲ差出ス可シ
受命判事ハ趣意書ニ掲ケタル事項ノ範圍内ニ於テ辯論ヲ爲ス可シ
私訴ノ上告ニ付テハ檢事最終ニ其意見ヲ陳述ス可シ

〔三好退藏君演壇ニ登ル〕

○三好退藏君 刑事訴訟法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過、結果ヲ御報道イタシマス、本案ハ二回本日午前マデニ開キマシテ、大體ニ付イテ政府委員ノ説明ヲ聞キマシテ後、逐條審議ニ移リマシテ一一ノ修正ヲ加ヘマシテ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシテゴザイマス、其修正ノ條項ヲ申シマスレバ、全

二百七十七條及第二百七十八條ニ於キマシテ「三十日」トアル所ヘ「五」ノ字ヲ加ヘマシテ、二百七十七條デ「三十五日」ト云フコトニ二箇所修正ヲ致シマシタ、ソレカラ二百七十八條ノ「十日」ト云フ所ニ「十五日」ト云フ「五」ノ字ヲ加ヘマシタ、此修正ヲ致シマシタル理由ハ本案ノ改正ヲ要スル所ノ第一要件ト申シマスルモノハ、現行ノ刑事訴訟法ニ於キマシテ上告趣意書ト云フモノヲ上告申立ヲ爲シマシタル日ヨリ五日内ニ趣意書ヲ差出サナケレバナラヌト云フコトガ大ニ上告人ノ權利ヲ伸張イタシマスル上ニ於テ甚ダ不便ヲ感ジマスル次第デゴザイマスル、ソレ故ニ此趣意書ヲ差出シマスルコトヲ上告成立ノ要件ト致シマセズニ、上告趣意書ヲ差出サヌデモ上告申立ヲ致シマスレバ上告ガ成立チマシテ、上告趣意書ト申シマスルモノハ、此二百七十八條ニ規定シテゴザイマスルヤウニ公判期日ノ十五日前ニ趣意書ヲ上告裁判所ニ差出スト云フコトニ改メマスルノガ此本案改正ノ大要點トナツテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ成ルベク此趣意書ヲ差出シマスル爲ニ便利ヲ與ヘマスル必要ガゴザイマスルカラ、三十日ヲ三十五日ト致シマシタ、勿論此二百七十八條ニ於テ裁判所ガアノ方ニ於テ準備ヲ致シマスル手續ヲ致シマスル尙ユトリヲ取ッテ置キマスルガ爲ニ、十五日ト致シマシタ結果ニ依リマシテ、此二百七十七條ノ三十五日ト云フコトモ相俟ッテ此修正ヲ要シマシタ次第デゴザイマス、是ガ此二百七十七條及二百七十八條ノ修正ノ理由デゴザイマス、ソレヨリ二百八十二条ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ、是ハ原案ハ「檢事ニ非ナル者ノ差出ス趣意書及ヒ答辯書ニハ辯護士ノ署名アルコトヲ要ス」ト云フノガ原案デゴザイマス、是ハ重罪ニ於キマシテハ若シ上告人ヨリ辯護士ヲ出スコトガ出來マセヌトキニハ裁判所ヨリ辯護士ヲ命ズルコトニナツテ居リマスケレドモ、輕罪ニ於キマシテハ官ヨリ辯護士ノ署名アルコトヲ要ス」ト云フノガ原案デゴザイマス、是ハ重罪ニ於キマシテハ若シ上告人ヨリ辯護士ヲ命ズルコトガ出来ヌト云フ結果ニナリマシテ、遂ニ上告權ヲ自然奪ハレルヤウナ結果ニナリマスル、サウ云フ差支ガゴザイマスルト云フコトデ、此原案ハ削除イタシマシタ、其代リニ矢張リ二百八十二条ニ於テ修正ヲ致シマシタノハ、諸君ノ御手許ニゴザイマス通リノ案デゴザイマス、是デ裁判所ノ方ニ於テモ上告趣意書及答辯書ト云フモノノ趣意ヲ能ク調ベマスルコトヲ得マスルノデ、受命判事ヲ以テ調ベマスレハ必シモ辯護士ノ署名シタル趣意書及答辯書デナカツテモ裁判ヲ致ス上ニ於テ差支ガナイト云フコトニナリマスル、ソレ故ニ此修正

ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、第二百八十三條ノ二項ヲ加ヘマシタ、是ハ前條ヲ修正イタシマシタル結果トシテ此修正ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、要シマスルニ本案改正ヲ要スル理由ハ、目下ノ裁判手續デゴザイマシテハ上告趣意書ヲ五日内ニ差出サヌケレバ上告ガ成立シナイト云フコトニナ

テ、甚ダ上告人ノ不便ヲ來タシテ居リマスカラ、ソレヲ救濟スルガ爲ニ此法案ヲ提出セラレタル次第デアルト云フ政府ノ辯明デゴザイマシテ、特別委員會ニ於キマシテモ審議ノ末、其意ヲ諒シマシテ此修正案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、是ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第デゴザイマシテ、會期切迫ノ場合デゴザイマスカラ、諸君ニ於テ別段ノ御反對ガゴザイマセヌコトデゴザイマスレバ、ドウゾ讀會ヲ省略セラレテ本案ヲ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成
○子爵入江爲守君 賛成
○男爵中川興長君 賛成
○伊澤修二君 賛成
○男爵金子有卿君 賛成
○石井省一郎君 賛成

〔其他賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 三好君ノ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十一、明治三十年法律第三十九號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、第二十二、地租條例中改正法律案、

衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、西村亮吉
明治三十年法律第三十九號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
明治四十一年三月二十五日

貴族院議長公爵德川家達殿
西村亮吉
右特別委員長
西村亮吉
〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕
貴族院議長公爵德川家達殿
西村亮吉君 諸君、本案委員會ノ經過ヲ御報告申シマス、此本案ハ二十三日ニ正副委員長ヲ互選イタシマシテ、昨二十五日ニ始メテ委員會ヲ開キマシタ、此三十九號中ノ改正ハ事實承ハリマスト現今ノ法律ハ此土地ノ改良ヲ企テマシテモ其區畫内ニ一人ノ異論者ガアレバ改良ヲスルコトガ出來ヌノデアリマス、實際ハソレニ付イテ差支ノアル所ヨリ二項ヲ現行法律ノ第二項ノ次ニ加ヘルト云フコトニ致シタインデアリマス、サテ其一項ヲ加ヘテ三分ノ二以上ニ當ル同意者ヲ得テ其一部ヲ押付ケルト云フヤウナコトニナツテハ、何カソレニ一ツ其不服人ノ之ヲ防ギ、ソレニ當ルコトヲ設ケネバナルマイト云フノデ、其次ニ持ツテ行ツテ十五日以内ニ訴願スルコトヲ得ルト云フ一項ヲ加ヘルコトニナリマシタ、ソコデ實地ノコトヲ承ツテ見マスルト、現今ハ土地整理法ガ出來タニ依ツテ此法律ハヒドク必要ト云フ譯デハナイ様子デアリマス、然ルニ是ガアル爲ニ又不都合ヲ見ルコトガアル、故ニ是ハ二項ヲ差加ヘテ此儘此法律ノアルト云フコトガ必要デアルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ此法律ニ依ツテ道路ヲ改築スルト云フコトガ出來ルカト云フ質問モアリマシタ、所ガ政府委員ハ是デ道路ヲ改築スルコトハ成ラヌ、其一部ノ區畫ヲ改正スル爲ニ其所ニアル道路ヲ他ヘ移スト云フヤウナコトハ差支ナイガ、單

ニ道路ヲ改築スル爲ニ此法律ニ依ルコトガアツテ決行スルコトハナラス、斯
ウ云フコトデアリマス、サウシテ此一項、二項ヲ此現行法ノ第二項ノ次ヘ加
ヘテ、サウシテ此現今ノ順ノ三項ニアル所ノモノヲ「前一項又ハ二項ヨリ政
府ノ許可ヲ受ケタル土地中地目若クハ地類變換」云々トスウナツテ、此方デ
一向政府ニ於テハ差支ハナイ、委員中一人モ異存ナシデ此原案ノ通リデ宜イ
ト云フコトデ全會一致デ決シマシタ、ソレカラ此地租條例中ノ改正デゴザイ
マスルガ、是ハ從前ハ此軌道用地ト云フコトハ無カタノデゴザイマス、從
前ハ馬車鐵道クラ舟デアツタニ依テ總テ此用地ト云フモノハ別段ニ見テ居ラ
ナカタノデアリマス、今日ノ如ク電氣鐵道ガ盛ニナツテ來ルト云フト、實
地鐵道ノ用地ハ免租スルガ當然デアルト云フコトデアツテ、政府ニ於テモ是
レハ異議ハ無イノデアリマス、ソレデ委員中ニハ之ニ一人ノ不同意者モナク
全會一致デ之ヲ可決イタシマシテゴザイマス、別段ニ是ニハ一向議論ハ無イ
マスル、且ツ兩案トモ簡單ナ案デアリマスルカラ、ドウゾ諸君ノ御贊成ヲ願ヒ
ルコトヲ希望イタシマス

○伯爵大原重朝君 読會省略ニ贊成

○岩村兼善君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○子爵野宮定穀君 贊成

○田邊輝實君 贊成

○南郷茂光君 贊成
〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 西村君ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガアツタ
ト認メマス、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案ト 特別委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案トモ可決セラレマシタ

○西村亮吉君 私ハ是ヨリ渡良瀬川沿岸特別地價修正法律中改正法律案ノ委

員會ヲ開キタウゴザイマス、御許シヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 西村君ノ要求ハ許可シテ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

「西村亮吉君」委員諸君ハドウゾアチラヘ御出ヲ願ヒマス「ト述フ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

案、大谷嘉兵衛君提出、會議、委員長報告、松平男爵

海外商工事務官ヲ置クノ建議案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十五日

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十三、海外商工事務官ヲ置クノ建議

案、大谷嘉兵衛君提出、會議、委員長報告、松平男爵

海外商工事務官ヲ置クノ建議案

右特別委員副委員長

男爵 松平 正直

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵松平正直君演壇ニ登ル〕

○男爵松平正直君 海外商工事務官ヲ置クノ建議案ノ特別委員會ノ經過並ニ
決議ノ次第ヲ御報告致シマス、此委員長ハ德川伯爵デゴザイマシタ所ガ、昨
日ハ他ノ委員會ノ爲ニ御差支ニ依テ本員ガ代ツテ委員長ノ席ヲ汚シマシタ
ヤウナコトデゴザイマス、ソレデ今日ノ御報告モ本員カラ申シマス次第ニ
リマシタ、此案ハ皆様御承知ノ通リ簡単ノ問題デアリマス、此審議ヲシマシタ
順序ヲ一ト通り御報告致シマス、第一ニ討論中質問ニナリマシタノハ、政府
委員ノ意思ヲ確カメマシタコトデアリマス、其時ノ政府委員ハ外務省並ニ農
商務省ノ政府委員ガ出席居リマシタ、即チ通商局長並ニ工商局長デゴザイマ
ス、其質問ハ此建議ハ政府ニ於テハ同意ヲ表スルノデアルカ、此建議ニ付イテ
ハ差支ガアリハシナイカト云フ質問デアリマシテ、其要領ヲ概シテ申シマス、
二所ガ外務省ノ方ノ政府委員ハ差支ガナイト云フノミナラズ、此案ハ歡迎
ヲスルト寧ロ言ヒタイ位デアル、固ヨリ海外ノ商工ノ情況ヲ内地ニ出來得ル
限リ通報スルコトハ今モ勉メテ居ル、即チ領事館ノ其職務中ノ一ツデ出來得
ル限リヤリ居ルガ、サテナカナカ領事館ハ各種ノ事務ガアツテ多端デアルカ
ラ、實ハ思フ通り出來居ル積リデアルガ、是デ満足カト云フト、マダ不足デア
ルカモ知レナリ、ソレデ此事ガ出來マスレバ一層海外ノ事情ヲ内地ノ實業家

ニ詳ニ報道スルコトヲ得ルト云フコトハ疑ヒノ無イ次第アルカラ大ニ歡迎スルト云フ答デアリマシタ、ソレカラ農商務省ノ政府委員ノ答ハ是ハ大分長ク話ガアリマシタガ、歐米各國ノ例ヲ引イテ或ハ大使館ニ此商工事務官ノ如キモノヲ置ク所モアル、又領事館ニ置ク所モアル、各國趣ヲ異ニスルガ獨逸、英吉利アタリデハ最モ注意ヲシテ其何ヲ置キマス、此事ニ付イテハ曾テ農商務省デ計畫シテ議會ニ提出スルマデニ至リマシタコトモアリマスガ、併シ經費ノ都合ニ依ツテ此議會ノ通過ヲ得ナカッタノハ遺憾デアルト思フ位デアリマスカラ、此案ハ誠ニ同意ヲ表スル問題デアル、政府委員ノ説明ノ要領ヲ摘要申シマスルト右等ノ次第デアリマス、而シテ各委員各々意見ヲ吐露セラレマシテ、遂ニ全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ、其可決シタ趣旨ハ今喋々ト論ズルマデモ無ク、既ニ提出者ノ大谷君ガ十分述ベラレテアリマス、又理由書エモアリマスカラ、今更茲ニ論ズル必要モアリマセヌガ、決議サレタ要點ヲ概言シマスレバ、兎ニ角此國運ノ進歩發達スルニ伴ウテ、國民ノ負擔ト云フモノハ勢ヒ辭スル譯ニモ行カナイ、増稅セラルモ是亦已ムヲ得ヌ、斯ノ如ク國家ノ義務ヲ國民ガ負ウテ進行スル以上ハ、一面ニハ又海外ニ於テ國民ノ實業即チ商工業及其販路、又日本ノ内地ニ向テ農商工ノ改良ヲ促シテ、新規ノ歐米ノ狀況等ヲ手ニ取ル如ク之ヲ報道シテ參リ、實業界ニ大ナル又發展ヲ與ヘル途ヲ開クト云フコトハ實ニ今日ノ急中ノ急デハナイカ、此論ハ誠ニ此建議ノ趣意ハ尤モナリト、斯ウ云フ趣意ヲ以テ、全會一致デ可決セラレマシタ次第ゴザイマス、此段ヲ御報告ヲ致シマス、願ハクハ諸君御一同ニ御賛成グダサレテ速ニ可決アラムコトヲ幾重ニモ希望イタシマス。

○伯爵吉井幸藏君　此案ハ今委員長カラ委シク御報告ニナリマシテ、誠ニ必要デアルト云フコトハ皆サンニ御分リグラウト考ヘマスカラ、ドウカ讀會省略ヲ以テ：間違ヒマンシタ：

○議長（公爵徳川家達君）　他ニ御發言モ無イト考ヘマスカラ採決ヲ致シマス、本建議案ヲ可トセラレル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

午後二時十七分休憩

午後五時十九分開會

○議長（公爵徳川家達君）是ヨリ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕
地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ適當選セリ

議長　伯爵正親町　實正君　副議長　伯爵廣澤　金次郎君

治安警察法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長　伯爵大木　遠吉君　副委員長　伯爵松平　賴壽君

本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

感化法中改正法律案

肥料取締法改正法律案

官吏恩給法中改正法律案

本院ニ於テ承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ奏上シ又承諾スルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治三十九年度豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件

臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件

本院ニ於テ修正議決シタル政府提出刑事訟訴法中改正法律案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ送付セリ

本院ニ於テ議決シタル左ノ衆議院提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案
明治三十年法律第三十九號中改正法律案

地租條例中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案ノ可決報告書ヲ特別委員長本院ニ於テ議決シタル海外商工事務官ヲ置クノ建議案ハ直ニ之ヲ政府ニ送付セリ

委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

東洋拓殖株式會社法案可決報告書

明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)可決報告書

明治四十年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)可決報告書

明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)可決報告書

明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)可決報告書

治安警察法中改正法律案可決報告書

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案否決報告書

衆議院ヨリ同院提出會計法中改正法律案ヲ受領セリ

衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

樺太廳立小學校教員退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

陸軍營繕費補充資金特別會計法案

明治二十三年法律第二十七號中改正法律案

獸疫豫防法中改正法律案

畜牛結核病豫防法中改正法律案

滿洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

○伯爵正親町實正君 此際、議事日程ヲ追加サレマシテ地方稅制限ニ關スル法律案ノ兩院協議會ノ報告ヲ致シタイ

○議長(公爵徳川家達君) 衆議院ヨリ未ダ通牒ヲ受領イタシマセスカラ、暫ク御猶豫ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案ノ可決報告書ヲ特別委員長ヨリ議長ヘ提出ニ相成リマシタカラ議事日程ヲ追加イタシマシテ、此際第一讀會ノ續ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、黒田侯爵

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案ノ可決報告書ヲ特別委員長第一讀會ノ續ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、黒田侯爵

○議長(公爵徳川家達君) 東洋拓殖株式會社法案ノ可決報告書ヲ特別委員長第一讀會ノ續ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ】

々遲延スルコトニナツタノデアル、若シ本期ノ議會ニ此法案ガ通過イタサヌコトニナレバ其結果ハ一年後レルコトニナツテ、サウナルト云フト現今及將來ノ事情ニ照シテ到底許スコトノ出來ナイ譯デアルカラシテ、ソレデ此際是非トモ本案ガ通過スルヤウニナラナケレバ國家ノ爲ニ非常ニ不利デアルト云フヤウナ大體ノ説明ガアリマシタ、ソレカラ委員ノ中ヨリ多クノ質問ガアッテ、ソレニ對シテ一々政府委員カラ答辯モアリマシタ、其末今日ニ互ツテ尙本質問會ヲ開キマシテ、大體質問ガ盡キタト認メマシタニ依ツテ本案ノ可否ニ付イテ討議ヲ始メマシタ、其可否ノ論點ノ要旨ヲ簡單ニ御報道イタシマス、本案ニ對シテ反対ノ論者ハ、本案ハ昨日始メテ受取ッテ、マダ十分熟讀熟考ノ餘地ガ無イノデアル、政府委員ニ承ハレバ極ク大急ヲ要シテ、是非トモ此際通サネバナラヌト云フ程ノコトニモ承ハラヌ、能ク熟考シテ見タナラバ可否何レニカ考ガ決スルノデアルケレドモ、今日ノ場合デハ何レトモ判斷ヲスルコトガ出來ナイ、ソレデドウゾ此暮マデ待ツテ貰ヒタイト云フ希望デアル、併ナガラ此希望ハ恐ラクハ委員會ニ於テ容レラレナイト思フニ依ツテ、此際可否ヲ決セネバナラヌコトデアレバ本案ニハ反対スルヨリ外ノ事ハ無イ、斯ウ云フ大體ノ趣意デアリマス、然ルニ之ニ對シテ原案ヲ贊成スル論者ハ成ルボド此切迫ノ際ニ斯ノ如キ重要ナル案ヲ速ニ決スルコトハ甚ダ難イト云フ點ニ付イテハ至極同感デアルケレドモ、韓國ニ對シテ斯ノ如キ會社ヲ設ケテ國家ノ爲ニ利益ヲ圖ルコトハ今日ノ狀態ニ於テ最モ必要ナル事柄デアル以上ハ逐條審議ヲシテ決スルト云フニハ熟考ノ餘地ガ無イカモ知レヌケレドモ、

之ヲ大觀シテ大體ニ於テ可否ヲ決メマスルニ當ツテハ、無論今日之ヲ速ニ通過セシメナケレバナラナイ、若シ將來條文ニ不備ノ點ヲ發見シタナラバ第二十五議會ノ時ニ於テ修正ヲ試ミテモ少シモ差支ナイコトデアル、斯ウ云フ趣意デアリマス、又一説ニハ斯ノ如キ重要ナル事柄ヲ今日一年モ延バスト云フコトハ甚ダ遺憾ノ次第デアルニ依ツテ、實ハ一二致究ヲ要スルト考ヘルコトモアルケレドモ、今日ハ彼是レ申ス暇ガ無イカラ、今日ノ場合デハ之ヲ可決スルヨリ外ハ無イ、斯ウ云フ意見デアリマス、ソレデ起立ニ問ヒマシタ所ガ、十三名ニ對スル三名ノ差ヲ以テ本案ハ大體ニ於テ可決スベシト云フコトニ決シマシタ、ソレヨリ逐條審議ニ移リマシテ議シマシタ所ガ、總テ原案ノ通りニ第二十三條ヲ除クノ外ハ原案ノ通り可決イタシマシタ、第二十三條ニ於テ一ツ修正説ガ出マシタ、ソレハ「拂込資本額ノ十倍ヲ限リ」ト云フ此「十

倍」ヲ「五倍」ト云フ修正説デアリマス、會社ガ全部株金ヲ拂込ムトキニハ十倍即チ一億圓ノ債券ヲ發行スルコトガ此法案デハ出來ルコトニナツテ居ル、ソレヲ五倍ト修正シテ五千萬圓ニ限ルコトニ致シタイ、此會社ノ株券ノ債券ニ對シテ五分ノ一ヲ限りトシテ政府ガ元利ノ保證ヲスルト云フコトハ至極適當ノ程度ト思フ、其點ニ付イテハ政府ト同感デアルガ、一億圓デハ餘リ多キニ過ギルカラ五千萬圓ト云フコトニスレバ、詰リ元利ノ保證ガ二千萬圓ノ半額即チ一千萬圓デ足リルコトニナル、其位ノ程度ガ今日ノ經濟ノ狀況ニ照シテモ丁度相當デアラウト思フ、且ツ斯ノ如キ會社ノ設立ハ是マデ無經驗ノコトデモアルカラシテ、先づ以テ一千萬圓ニ止メテ、將來必要ガアッタラバソレヲ増シテモ遲クハナイ、斯ウ云フ修正説デアリマス、是ニ一二贊成者ガアリマシタカラ採決イタシマシタ所ガ、是亦少數デ成立チマセヌ、次ニ原案ニ就イテ採決イタシマシタ所ガ、多數ヲ以テ原案通リニ可決イタシマシタ、ソレカラ第三讀會ノ場合デ可否ヲ問ヒマシタ所ガ、異議ナクニ一讀會決議ノ通り、即チ此原案ノ通り可決スルト云フコトニ決シマシテゴザイマス、此段御報告イタシマス

○子爵谷干城君 通告ヲ致シテ置イタ考デゴザイマスガ、意見ヲ述ベテ
○議長(公爵德川家達君) 議長ハ是ヨリ通告順ニ依ツテ御登壇ヲ促サウト存ジテ居リマス、西村君ガ谷子爵ヨリ先キニ通告セラレマシタカラ、通告順ニ依ツテ願ヒタイノデス、西村亮吉君

〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

○西村亮吉君 諸君、私ハ此案ニ已ムヲ得ズ反対ヲ致サヌナラヌコトニ立至リマシテゴザイマス、誠ニ此案ニ反対ヲスルト云フコトハ、如何ニモ殘念ニ思ヒマス、殘念ニ思ヒマスガ、已ムヲ得ズ反対ヲ致サヌナラヌノデアリマス、聊カ其反対ヲ致ス譯ラ諸君ニ御聽キヲ願ハヌナラヌ、此案ハ昨二十五日部室ノ文書函カラ受取りマシテゴザイマス、所ガ昨日ハ委員會モアリ、本會モ長ク掛カリ致シマシタカラ、昨日ハ目ヲ通スコトガ出來マセヌデ、昨夜ニ至ツテ一讀イタシマシテゴザイマス、然ルニ第何條ニ何ト云フコトガアッタト云フコトマデ暗誦スルマデハ能ウ見マセナシダ、段々諸君ハ綿密ニ御調査ニナッタモノト見エマスルガ、私ハソレマデ調査ガ行キ届カヌ、此法案ハ如何ニモ重大ナ法案ト考ヘルノデアリマス、ソレデ此法案ニ就イテ利害得失ト云フモノヲ十分ニ調査ヲ致サヌナラヌノデアリマス、然ルニ唯今申上ゲル通りデ、

調査ガ出來ヌノデアリマス、此重大ナル法案ヲ會期ノ終リニ際シテ政府ガ提出ニナッタ御趣意ト云フモノハ實ニ何タルコトカ、ドウモ分ラヌノデゴザイマス、何カ事情ノアルコトデアラウカト考ヘテ見ルガ、ドウモソレマデ能ウ調査ハ致サヌノデアリマス、ソコデ衆議院ノ委員會デ政府委員ノ御答ニナッテ居ル所ヲ見ルト、ドウモ曖昧デアル、ソレニハ斯ワアル議會ニ提出スルニ至ル迄ノ間ニハ、鄭重ニ慎重ニ審査ヲ致シタモノノデアリマシテ、其審査ノタメニ尠カラザル時期ヲ要シタノデアリマス、固ヨリ此案ガ早ク確定致シマスレバ、勿論議會ニ早ク提出スベキガ當然デアリマスガ、唯今申上ゲマシタ通リノ事情デ調査ニ非常ニ時ヲ要シタガタメニ、遺憾ナガラ早ク提出スルニ至ラナカッタ次第デアリマス

斯ウ云フヤウニ政府委員ハ言ハレテ居ッテ、實ニ遅ナハッタ理由ニハナラヌノデス、實ニ曖昧ダ、ソコデ是ハ如何ナル事情ガアツタカト云フコトヲ考ヘル暇ガ無イ、時間ガ無イ、又此衆議院ノ修正ト云フモノガ果シテ此適當ナ修正デアルカ否ヤト云フコトモ調査ヲスル暇ガ無イ、政府ハ斯ノ如キ重大ナル法案ニテモ衆議院サヘ奇態ナ手段ヲ以テ通過セシメタナラバ貴族院ハ譯ナク通過スルト云フ考ヲ以テ、斯ノ如キ法案ヲ提出セラレタモノノデハ無カラウカト私ハ疑フ、又此法案ガ通過スルト、四十二年度ニハ又増稅ヲセネバナラヌト云フコトガ來ハセヌカ、其譯ハ此四十一年度ノ歲出豫算ト云フモノハ六億千五百ナシボト云フモノデアツタ、此豫算ヲ編製スルニ付イテハ政府ハ財政ウカト云フト、斯ウ云フモノデアル、四十一年度ガ六億千百四萬五千四十八圓、歲出ガ六億二千三百萬四千三百圓、斯ウ云フコトニナッテ居ル、ソレカラ之ヲ一々讀ミ上ゲマスルト長クナリマスカラ、讀上ゲマセヌガ、四十二年

</

態ニ惡ルクスルト關係スルコトト思フ、熟ニ此案ヲ見マスルト政府ガ一ノ御手先會社ヲ擁ヘテ、ソレデ以テカラニ朝鮮ノ事業ハ一手販賣、即チ「トラスト」ヲヤルノデアル、總テ世ノ中ニ此「トラスト」ト云フモノノ憎ムベキコトト云フモノハ皆承知ノコトデアル、總テ政府ガ斯ウ云フ非常ナ特別ノ保護ヲ與ヘ、又是ハ總テ政府ノ事業、讀ンデ見ルニ一々政府政府ト云ウテ、政府ノ字ガ幾ツアルカ知レヌ、是ハ即チ會社ノ事業ニアラズ、政府ノ事業デアル、是ガズト古イ時代デ英吉利ガ印度ノ會社ヲ擁ヘタヤウナトキナレバ、我ガ橫領シテ居ル所ノ土地へ勝手ニ施クノデアルカラシテ、ソレハ出來マセウガ、今日ハ世界列國ノ中ニ立ッテサウシテ此日本ハ普通ノ交際ヲシテ居ル所デアル、近來「トラスト」的ノコトハ亞米利加アタリニハ非常ニ憎ムンデ居ル組織シテ之ヲ成立サセウト云フノデアル、殊ニソレハ百年ニ亘ツテ居ル無期限ノ一つノ會社デアル、又一個人ノ事業ハドウカ、段々手ヲ出シテ居ルモノモアルト云フコトデアリマスカラ、調ベテ見マスト、一個人ノ事業ハ僅カナモノ、ソレデ多分此立案者ハ個人ノ困ルノガハ之ニ合併シテカラニ、一つニシテ仕舞ッテト云フノデ、決シテ私ガ推量シマシタ所デハ個人ハ迷惑ハ無カラウ、却ツテ利益ニナルノデアラウトスウ推察スル、ソレデ此十二條ノ所ニ段々列記シテアル一、二、三、四ト列記シテアル、是ガ政府ノ精神ト思フ、デ此列記シテアルコトヲ讀ンデ見マスルト到底何モ彼モ一手販賣、他カラ手ヲ出ス餘地ハ少シモナイ、ソレデ是ハ現ハニ斯ウ出テ居ルモノデヤカラシテ氣ガ付カレタカ、先ヅ衆議院ノ方デ修正ニナッタ、然ルニ此修正ヲ讀ンデ見マスルニ、政府ノ許可ヲ受ケ附帶事業トシテ韓國ニ於ケル水産業、是マデハマダ宜シウゴザイマスガ、其他ノ拓殖業、其他ト云フコトハ即チ此一、二、三、四ヲ含ンダモノト讀メル、ソレデ此文章ヲ少シ穩カナヤウニシテアルケレドモ「其ノ他」ノ此三字ト云フモノハ、此四ツノ條目ヲ含ンデアル、頗ル巧ミナ修正デアル、ソレデ斯様ナ大キナ事業ヲ僅ノ日數ニ叩キ上ゲテ仕舞フト云フノハ、頗ル議院ヲ愚ニシタモノ、馬鹿ニシタモノデアル、之ヲ皆サン尤モニ御聽キニナルト云フコトニ付イテハ我ニモ甚ダ殘念ニ考ヘル、衆議院ノ速記錄ヲ見マシテモ誠ニ反對ト云フ者ハ無イ、殆ド先ヅ一致デ可決セラレツラウカト思ハレル、之ガ若シ一步ヲ誤ルトキニナリマシタレバ、内ニハ韓人ノ感情ヲ損ヒ、外ニハ他國人ノ不平ヲ招クコトニナル、デ詰リ農業ト云

フ名ノ下ニ即チ「トラスト」會社ヲ政府ガ擁ヘルノデアル、デモウ餘計ナコトハ言ヒマセヌ、サウ云フ不都合ナ案デアルカラシテハ、政府ハ之ヲ撤回シテ仕舞フガ宣カラウ、到底谷干城ハ同意ハ出來ナイ
○男爵松平正直君 本員ハ此案ニ贊成ヲ致シマスル積リデアリマスガ、唯今反對ノ御説ガ西村君、谷君カラアリマシテ…
○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス
○男爵松平正直君 簡單デゴザイマスカラ…
〔子爵谷干城君「ドウゾ十分ニ、御質問モシナケレバナラヌコトガアリマスカラ」ト述フ〕
○議長(公爵德川家達君) 議長ハ一度宣告イタシマシタラバ其宣告ハ取消シマセウ
〔男爵松平正直君演壇ニ登ル〕
○男爵松平正直君 演壇ニ登ル
「男爵松平正直君演壇ニ登ル」
ド會期切迫ノ際ニ此重要問題ヲ付セラレタニ付イテハ實ニ甚ダ迷惑デアルト云フコトハ、是ハ誰シモ其通リデアリマス、サリナガラ一面カラ政府ノ提出ノ遲クナッタノハ誠ニ甚ダ何カソレニ付イテハ事情ガアルカラモ知レマセズ、又多少調ベニ付イテ遲クナッタコトデアリマセウガ、ソレハ已ニ既往ニ屬スル問題デ、此提出セラレタ以上ハ、此案ニ付イテハ成立ガ宣イカ、又此案ハ不用デアルカト云フコトヲ判斷ヲ致シマスニ付イテハ、本員ハ是ハ必要デアルト考ヘマス、必要デアルト云フノハ大體ニ於テデス、韓國ニ對シテハソレソレ既ニアスコニハ統監府モ置カレ、韓國ヲ改良發展スルコトニ付イテハ、十分ニ懇篤ナル日本政府トシテ之ニ對シテ盡サレテ居リマスガ、此事業上ノコトニ付イテハ、是カラ將來共ニ提携シテ發達サスベキ餘地ハ澤山ニアル、所ガ自然ニ任セテ置イテモ年月ノ經ルニ從シテ爲シ得ル場合モアリマセウケレドモ、今日東洋ノ大勢上カラ見マスレバ、ドウゾ一日タリトモ此韓國ノ實業上、發展ヲシ、日本人ト韓國人ト相共ニ提携シテ行ケル基礎ノ立ツト云フコトハ誠ニ一日モ猶豫スベカラザル場合ト存ジマスカラ、斯ウ云フ會社ガ法律ニ依シテ保護セラレ、而シテ遂行シ得ラルルト云フコトニナリマシタナラバ、大ニ日韓ノ間ニハ無限ノ幸福ヲ得、之ガ爲ニ兩國ノ人民ハ相共ニ提携スルト云フ幸福ヲ將來ニ得、兩國ニ於テ將來利源ヲ開クト云フ基ヲ爲スト云フコトト深ク信ジマスカラ、ソレデ本員ハ之ニ贊成スル所以デゴザイマス、ドウゾ御同感ノ諸君ハ御賛成アラムコトヲ、本員ハ簡單ト申シマシタカラスノ如ク

簡單ニ賛成ノ意ヲ述べテ皆様ニ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ政府ニ一ツ御尋ねシタイコトガアリマス、其上デ意見ヲ述べタイト考ヘマス、ソレハ西村君カラモ十分御述ベニナリ、谷子爵カラモチヨット御述ベニナシタデスガ、此會期切迫ノ際、西村君ノ言ハレタ如ク、十分、案ヲ見ルコトサヘモ出來ナイノデアル、ソレニモ拘ラズ咄嗟ノ際

ニ此案ヲ提出サレタト云フコトハ如何ナル譯デアルカ、ドウ云フ譯デ急ナ必要ガアルカ、依ッテ是ハ已ムヲ得ズ反對シナケレバイケナイ、斯ウ云フコト

ヲ述ベラレタト思ヒマス、ソレハ私ガ委員會ニ於テ述ベタト同ジコトデアル、ソレニ對シテ政府ハ何トカ一言御答辯ガアリタイト思ヒマス、此會期切迫ノ際、滿場ノ諸君ニシテモ恐ラクハ御熟讀ニナシタ御方ハ失禮ナガラアルマイト

思ヒマス、爲シ得ナイコトダラウト思ヒマス、ソレニモ拘ラズ慎重ニ調査ラシナケレバナラヌト云フ、十分ニ議案ヲ熟讀スル暇ヲ與フルコトノ出來ナイ程ナ急ナ必要ガアルナラバ、ソレヲ本員ハ承ハリタイト思ヒマス、ドウガ政府ヲ代表シタ御方ヨリ、ソレダケノコトヲ御述ベニナラムコトヲ希望イタシマス

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 唯今ノ伊達男爵ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスルガ、此會期切迫ノ場合ニ提出ヲ致シタルノハ何故デアルカト云フノ御趣意ト承知イタシマスルガ、成ルホド會期餘日モ無イ所ニ提出ヲ致シマシタノハ甚ダ遺憾ト致ス所デゴザイマスルガ、本案ノ編成ニ最モ深ク注意審議ヲ凝ラシマシタル所ヨリ、遂ニ其編成ヲ了ルニ時日ヲ費ヤシタノデゴザイマスル、然レドモ韓國ノ經營ト申シマスルモノハ其方針ノ一度定マルヤ、一日モ之ヲ忽セニ致サヌ方ガ宜カラウ、若シ方針ガ定マラナイ間ハ致シ方ハアリマセヌケレドモ、一旦此方法ヲ以テ韓國ノ土地ヲ開拓スルガ必要デアルト云フ案ガ出来マシタル以上ハ、假令會期切迫イタスニモ拘ラズ、帝國議會ノ協賛ヲ求メルハ當然ノコトデアルト心得マシテ提出ヲ致シマシタル譯ゴザイマス、此段御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 探決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○侯爵黒田長成君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

「賛成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 黒田侯爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ賛成者ガゴザイマシタカラ採決イタシマス、直ニ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 全部ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○侯爵黒田長成君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 報告ヲ致シマス

〔太田書記官長朗讀〕
本院ハ地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

明治四十一年三月二十六日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議會成案

第一條第一號中「北海道、府縣」ノ下ニ「北海道ノ區、一級町村及二級町村」ヲ加フ

第五條第一項ヲ復活シ「十分ノ四」ヲ「百分ノ十二」ニ改メ第二項中「第一條乃至第三條」ヲ「前項」ニ改メ同項第三號中「永久ノ利益トナルヘキ水利事業」ヲ「水利」ニ改メ第三項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ第四項中「前二項」ヲ「前三項」ニ改ム

其ノ他ハ貴族院議決案ノ通トス

○伯爵正親町實正君 此際 協議會ノ成案ノ報告ヲ致シタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ追加ト云フ意味デゴザイマスカ

○伯爵正親町實正君 左様デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニハ未ダ賛成者ガアリマセヌガ……

〔賛成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマシ

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、故ニ議事日程ハ追加サレマシタ、正親町伯爵ノ御登壇ヲ願ヒマス

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也
明治四十一年三月二十六日

地方稅制限ニ關スル法律案
兩院協議委員議長

伯爵 正親町 實正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔別冊兩院協議會成案ハ前二載錄セ
ルモノト同シキナ以テ茲ニ略ス〕

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 地方稅制限ニ關スル法律案兩院協議會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ議長ヨリ指名ニナリマシタニ付イテ直ニ議長副議長ノ選舉ヲ行ヒマシタ、ソレヨリ本日ノ午後零時三十分ヨリ協議會ヲ開キマシタ、四時三十分ニ協議會ヲ終リマシテ、一ノ成案ガ成立イタシマシ

タ、ソレデ其成案ハ第一條ノ第一號ノ所ノ「北海道、府縣、沖繩縣ノ區及町村」トゴザイマス所ヘ「北海道、府縣、北海道ノ區、一級町村及二級町村」ト云フ文字ガ這入リマシタ、ソレカラ第五條ノ第一項ヲ復活イタシマシテ「十分ノ四」ト云フコトヲ「百分ノ十二」ニ改メマシタ、ソレカラ第二項ノ第三號ノ「永久ノ利益トナルヘキ水利事業」ヲ「要スルトキ」ト改メマス、其他此修正ノ結果トシマシテ第五條ノ二號ノ「左ニ掲タル場合ニ於テハ特ニ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ第一條乃至第三條ノ制限ヲ超過シテ」云々トゴザイマスノヲ、此「第一條乃至第三條」ヲ削リマシテ「前項ノ制限ヲ超過シテ」云々ト改メマス、ソレカラ其裏ノ「前項ニ」トゴザイマスノヲ更ニ「前二項」ニト改メマシテ、其次ノ「前二項」ト云フノヲ「前三項」ト改メマシタ、其他ハ總テ貴族院ノ決議通りニナリマシタ、其理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、衆議院ヨリ此貴族院ノ修正ノ理由如何ト云フ質問ガゴザイマシタニ付イテ、ソレニ對シマシテ此修正ヲ致シマシタ理由ヲ一應説明イタシマシタ、其他二三ノ質問ガゴザイマシタ末、此案ハ隨分錯雜シタ修正デモアルガ、議事ノ進行ヲ計ル爲ニ三名ノ小委員ヲ選定シテ、ソレニ兩院ノ議長ガ加ハッテ都合四名ヅツノ委員ヲ選ンデ、ソレニリマシタ、ソレニ一統贊成イタシマシテ、雙方ノ議長ヨリ各三名ノ委員ヲ指定シテ、ソレニ小委員ニ於テハ小澤武雄君、鎌田君、柴田君、此三名ヲ指名シ、ソレニ私ガ加ハリマシテ、四名ノ小委員ガ出來マシタ、ソコデ衆議院側ヨリノ要求ハ此前ノ第一條二條三條ノコトニ付イテモ多少議論ハアルケレドモ、ソレハ先づ貴族院ノ修正通リニシテ御同意ヲ致ス、併ナガラ此第五條ノ第一項ヲドウカ復活シテ貴ヒタイ、其理由ハ此前三條ニ於テ成ルホド現行制限額ヨリハ貴族院ニ於テモ必要ヲ認メマシテ、多少ノ金ハ緩ミハ付イテ居ル、併ナガラ制限内ニ置イテ各府縣町村一率ノ賦課ニナッテ居ルガ爲ニ甚ダ窮屈デアル、ソレハ町村ニ於テ此制限ニ達スル町村モアラウシ、又餘ル町村モアル、又中ニハ足ラナイ所モアル、餘ル所ハ宜イガ、足ラヌ所ハ如何ニモ窮屈デアルカラ、サウ云フモノノ爲ニ幾分カ制限外ニ餘裕ヲ取ッテ貴ヒタイ、何モ均シク町村ニ必要ト云フ譯デハナイケレドモ、町村ニシテ又小サイ縣ナドニ至ルト如何ニモ窮屈ナ町村ガアル、サウ云フモノハドウモ制限外ニ餘裕ヲ取ッテ貴ヒタイ、如何ニモ窮屈デアル、衆議院ノ望ム所デハ十分

ノ四ニ復シテ宜イ、併ナガラ全部ト云フモ餘リヂヤラウカラ多少ノ減額ハ仕方ガアルマイガ、大體サウ云フコトニシテ貰ヒタイ、ソレカラ三號ノ「永久ノ利益トナルヘキ」ト云フ文字ヲ削除シテ欲シイ、ソレハ此貴族院ノ修正ノ御趣意ハ至極御同感デアルガ、併ナガラ事實ニ於テ斯ウ云フ文字ガアリマスルト甚ダ差支ヘルコトデアル、ソレハ事實永久的ニ屬スル仕事デアッテモ法律ノ解釋、若クハ是マデノ習慣トシテ永久デナイ、是ハ經常ノ仕事デアルヤウナ事業ガアル、例ヘバ堤防ニ大キナ穴ガ明イタ、之ヲウツチヤツチ置ケバ堤防ガ決潰スル爲ニ其修繕ヲシナケレバナラナイ、サウ云フモノハ是マデノ慣例トシテ永久ノ利益トナルベキモノトハ認メラレヌ、併シ事實ハ永久ノ利益トナルベキ事業デアル、例ヘバサウ云フヤウナ爲ニ事實ト大ニ反スルコトガ出來テ來ルカラ、サウ云フ場合ニ付イテモ甚ダ困難ヲ感ズルコトデアル、ソレデ是ハ取ッテモ此法ノ精神ハ飽クマデ其精神ヲ以テ、唯此法文ニ記載スル所ダケ取ッテ欲シイ、斯ウ云フノデアリマス、其要求デゴザイミシタ、其二點デアルノデ、ソコデ貴族院ノ方デハドウモ此五條ノ一項ト云フモノヲ復活スル譯ニハ到底參ラヌ、ト云フモノハ初メ此案ノ修正ヲ説明シタトキノ如ク、餘リ此過激ノ増徴ハ宜シクナイ、ソレデ先づ金額ニ於テ約一千萬圓ノ緩ミヲ付ケル程度デ修正ヲ加ヘタノデアルガ、之ヲ復活スルト云フコトニナルト相當ノ金額ニナル、ソレハ同意ハ出來マセヌ、然レバ仕方ナイカラ、ドウカ十分ノ三ニシテ置クカラ折合ッテ吳レト云フコトデアリマシタ、到底ソレハ折合ガ出來ヌト云フコトデ、衆議院側ヨリ更ニ十分ノニニシテ欲シイ、ソレマデハコチラデ我慢スル、十分ノニニ折合ッテ吳レト云フコトデアリマシタ、十分ノ二ト云フコトデアレバ金額ニシテ八百萬圓デアルカラ是ハ折角デアルケレドモ應ズルコトガ出來ヌ、併ナガラ成ルベクサウ云フ請求デアリマスカラ、貴族院ノ側ニ於キマシテ成ルベク衆議院ノ意思ノアル所ヲ考ヘマシテ、更ニ退キマシテ他ノ委員トモ色ニ協議ヲ盡シマシタ、其結果、然ラバ是ハ十分ノニニ致シテ置カウ、其代リ前ノ制限内ノ中カラ五百萬圓ダケノ金額ヲ取除イテ、ソレニ十分ノ二ヲ加ヘル、丁度額ハ八百萬圓ニナル、サウスルヲギノ金額ナラバ、此同意モ致シマセウガ、其以上ハ甚ダムヅカシイ、併シト三百萬圓バカリノ増額ニナル、ソレナラバ承諾ガ出來ル、又約三百萬圓クフノガ、大體ノ御趣意デアル、サスレバ衆議院ノ御趣意ニモ適フカラ、サウ

致シタラドウデアラウ、ソレナラバ貴族院ノ方ハ折合フデアラウト申シマシタ、ソコデ衆議院ノ方ニ於キマシテハ成ルベク慎重ニ調ベルト云フ譯デ、更ニ又兩院ニ分レマシテ衆議院ノ方デキ色ニ協議ヲ盡サレタ模様デアリマス、其結果ハ更ニ又小委員ガ會合イタシマシタガ、衆議院側ノ言ハレルニハ成ルホドソレハ一應御尤モノヤウデアッテ、段々相談モシテ見マシタガ、此前ノ制限内ヨリ各稅目ニ付イテ、ソレダケノ金額ヲ割出スト云フコトハ、如何ニモ是ハ切迫ノ際、錯雜ナ仕事デアッテ、甚ダ面倒デアル、事ノ可否ハ兎ニ角モ、事實甚ダ容易ニ其計算ヲスルト云フコトハ困難ナコトデアリマスルカラ、何卒此前ノハ全部貴族院ノデ御同意イタサウカラ、ドウカ十分ノニデ折合ッテ吳レ、若シモソレガイケナケレバ已ムヲ得マセヌカラ、十分ノ一半ト云フコトニマデ我慢シヤウ、斯ウ云フコトデアリマス、ソコデ尙ホ我ミノ方デモ相談イタシマシタガ、併ナガラ此十分ノ一半ト云フコトニシマスルト、又大分ニ金ガ殖エマスルカラ、ドウモ貴族院ノ多數諸君ノ御意志ニハドウモ反シハシナイカ、是ハ折角デアルケレドモ如何ニモ御同意ハ出來兼ネルカラト云フ再三押問答ノ結果、遂ニソンナラバ百分ノ一・三ト云フコトニシテ貰ヒタイト云フコトデアリマシタガ、ソレデモドウモ少シ都合ガ惡ルイト云フコトデ、遂ニ百分ノ一・二ニ折合フ、衆議院側デハソレデハ已ムヲ得ヌカラ、其方ニ折合ヒマセウト云フコトデ、小委員ガ漸ク話ガ纏マリマシテ、サウシテ成立シタノデアリマス、ソレカラ永久ノ利益トナルベキ方ハ、是ハ衆議院ノ仰セラル所ハ一應御尤モノヤウニ考ヘマスケレドモ、又實際此文字ト云フモノハニ・ニ永久ト云フ文字ハ詰リ是ハ解釋ハ隨分如何様ニモナル字デアル、又當局者ノ手心ニ於テ如何様ニモナル譯デアルカラ、精神ヲ其所ニ置ケバ此文字ヲ取ッテモ差支ナカラウト云フコトデ、衆議院ノ要求ニ應ジマシタ譯デアリマス、ソレデ更ニ兩院ノ協議會ヲ開キマシテ報告ニナリマシタ所ガ、全會一致ヲ以テ成案ガ可決イタシマシタコトデアリマス、何卒滿場ノ諸君モ此意ヲ諒セラレテ、ドウカ此案ニ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス、
○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、兩院ノ協議會ノ成案ヲ可トスル
誤リデ百分ノ十二ト修正ニナッタノデアリマス
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君）過半數ト認メマス、兩院協議會成案ハ可決セラレ
マシタ

〔木村誓太郎君「私ハ反対デアリマス」ト述〕

○議長（公爵徳川家達君）此際諸君ニ御諮リテ致シマスガ、豫算委員長ヨリ
豫算案ノ可決報告書ヲ受領イタシマシタカラ、是ヨリ議事日程ヲ追加イタシ
マシテ其會議ヲ開クニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス、明治四十年度歲入歲出總
豫算追加案、第三號、明治四十年度特別會計歲入歲出豫算追加案、特第二號、
明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案、第二號、明治四十一年度歲入歲出總
豫算追加案、第三號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ
ノ、追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、追第
三號、會議、委員長報告

一明治四十年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）

一明治四十年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特第二號）

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總ラ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

一明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案（第二號）

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

一明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案（第三號）
右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第二號）

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

一豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第三號）

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

豫算委員長
子爵岡部長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 唯今議題トナリマシタル所ノ豫算ノ各案ニ付キマシテ報
告ヲ致シマス、委員會ハ本日前ニ開キマシテ、會期切迫ノ際デアリマスル
カラ別ニ分科ニ分ツコトナク、直ニ總會ニ於テ審議ヲ致スコトニ致シマシ
タ、明治四十年度歲入歲出總豫算追加第三號案ハ歲入歲出各々四百三十七萬
千五百十一圓デアリマシテ、此歲出ノ必要ハ明治四十一年八九月頃暴風雨ガア
リマンタガ爲ニ、東京府外一府六縣下ニ於テ河川、堤防、道路及橋梁等ノ破
損少カラスコトデアリマシタニ付キマシテ、其修築工費ニ多額ヲ要スルニ付

イテ土木ノ補助ヲ與ヘルト云フ案デアリマス、明治四十年度特別會計歲入歲出豫算追加第二號、是ハ文部省所管ノ東京帝國大學へ書籍ヲ買入レル必要ガアルト云フコトデ、金額ハ僅カデアリマスルガ、即チ一萬餘圓ノ金額ノコトデアリマスルガ、是モ別ニ特別會計トシテ出マシタノデアリマス、明治四十一年度歲入歲出總豫算追加第二號、是ハ歲入歲出各三百五十五萬六千九十六圓デアリマシテ、此歲出ノ説明ハ大分事項ガ多クナッテ居リマスガ、其重モナルモノヲ申シマスレバ、韓國事件ニ關スル派遣部隊ハ尙ホ引續キ駐劄ヲ要スルニ依リ、其經費ニ充用セムガタメ百九十六萬圓ヲ大藏省所管ニ於テ計上シテアリマス、又山梨縣ニ河川、堤防、道路、橋梁等ノ破損少カラナカッタ爲ニ、其修築工費多額ヲ以テ貸付金ヲ爲ス必要ガアル、其金額ガ百三十五萬圓ニナッテ居リマス、是ハ大藏省ノ所管デ要求シテアリマス、大キナモノハ先づ此案ニ於テハ斯ンナモノデゴザイマス、細カイ方ハ略シマス、明治四十一年度歲入歲出總豫算追加第三號、是ハ肥料取締法ノ改正ニ伴ヒマシテ支出ヲ要スルト云フノデアリマシテ、是ハ金額ハ五萬圓餘ニ過ギマセヌノデアリマス、唯今申上ゲマシタ所ノ各案ニ付キマシテ政府ノ説明ヲ聽キ、委員ニ於テモ審議ノ末、別ニ異議ナク可決イタシマシタ次第デアリマスカラシテ、此段御報告イタシマス、次ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ追第二號、是ハ先刻此議場ニ於テ決定ニナリマシタル所ノ東洋拓殖株式會社ノ法案ニ關聯シマシタル問題デアリマシテ、會社ノ發行スル社債二千萬圓ヲ限り、政府ニ於テ其元利仕拂ノ保證ヲ爲スコトヲ要求デゴザイマス、此問題ニ付キマシテモ段々質問モアリ政府ノ説明ヲ得マシタ末、一ノ修正案ガ出マシタノデアリマス、其修正案ハ二千萬圓ヲ半額ニ致シテ千萬圓ニ修正ラシタイト云フ說デアッテ、ソレニ贊成モアリマシタニ付イテ採決ヲ致シタ所ガ少數デアリマシタノデ、修正說ハ消滅ヲ致シテ、矢張リ原案ノ二千萬圓ガ多數ヲ以テ可決イタシマシタノデアリマス、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ追第三號、是ハ日本興業銀行ニ於テ韓國議政府ヘ貸付ノ爲ニ、外國ニ於テ發行スル債券ニ對シ、元利仕拂ノ保證ヲ爲スノ必要ヲ生ジタルニ依ッテ其保證ヲ爲スコトヲ得ルト云フ要求デアリマス、之ニ付キマシテモ餘リ議論モ無ク可決イタシマシタ次第デアリマス、併シ政府ガ元利仕拂ノ保證ヲスルト云フコトニ付イテハ、委員ノ中ニ反對ノ意見ヲ有テ居ラレタ方ガアッタヤウデアリマスガ、併シ此問題ニ付イテハ本議場

ニ於テ述ブル所ガアルカラ、委員會デハ別ニ意見ハ申サヌト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ其意見ハ別ニ出マセヌデアリマシタ、本議場ニ於キマシテ前刻其意見ハ諸君モ御聽キニナリマシタコト存ジマス、御報告ハ是ダケデゴザイマス

○議長（公爵德川家達君） 採決ヲ致シマス、唯今岡部豫算委員長ノ報告セラレマシタ豫算ハ全部問題ニ供シマス、豫算委員長ノ報告ヲ可トセラル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵德川家達君） 過半數ト認メマス

○議長（公爵德川家達君） 此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、先刻衆議院ヨリ送付ニナリマシタ會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開ク爲ニ議事日程ヲ追加イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君） 御異議ナイト認メマス、是ヨリ會計法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカラシテ、〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君） 御異ナイト認メマス

會計法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月二十六日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

會計法中左ノ通改正ス

第八條 支出シタル豫備金ノ仕拂ヲ終リタルトキハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

附 則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長（公爵德川家達君） 別ニ御發言モナイト認メマスカラ、特別委員ノ選

舉ニ移リマス、此特別委員ハ議長ノ指名デ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ、是ヨリ委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

會計法中改正法律案特別委員

伯爵大原重朝君 伯爵島津忠亮君 男爵楫取素彦君

子爵松平直平君 男爵船越衛君 男爵西五辻文仲君

男爵中島久万吉君 西村亮吉君 鳥越貞敏君

男爵松平直平君 男爵船越衛君 男爵西五辻文仲君

○議長(公爵徳川家達君) 尚ホ諸君ニ御詔リシマスガ、先刻委員長ヨリ可決ノ報告ヲ得マシタ治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續ヲ開ク爲ニ議事日程ヲ追加イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス日程ハ追加セラレマシタ

特別委員長ノ登壇ヲ促シマス、大木伯爵

治安警察法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

右特別委員長

伯爵 大木 遠吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵大木遠吉君演壇ニ登ル〕

○伯爵大木遠吉君 治安警察法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ヲ致シマス、其前ニチヨット申上ゲタイノハ、私ハ先月補闕選舉ニ當選シタ男デ、

此度マデ入レテ漸ク十回登場ヲ致シタカ致サヌ位ノ經驗ホカナイノデ、頗ル順序手續ヲ誤ルコトガアリマシタラ、忌憚ナクドウカ御叱責ヲ願ヒマス、此法案ハ極メテ手近ナモノデアッテ、明瞭至極ナモノデハアルガ、ドウモ其影響スル所ハ隨分大アルト云フ所カラシテ、委員會ハ十分ニ審査シタノデ、

政府委員モ出席セラレテ、是亦十分ニ質問モ致シマシタシ、極メテ慎重ニ審議シタ結果、トウトウ可決イタシマシタ、〔笑聲起ル〕此事ハチヨット御報告

ヲ致シマス、元來妙ナコトモアルモノデ、吾輩ノ如キ武骨不風流ノ者ガ多少優美デアル如クニ、我輩ノロヲ藉シテ諸君ノ耳朶ニ觸レシムルノ機會ヲ得タト云フノハ我輩ノ甚ダ光榮ト致ス所デアリマス之ヲ一言…
○議長(公爵徳川家達君) 大木伯爵ニ伺ヒマスガ、御意見デモ御述ベニナルノデスカ

○伯爵大木遠吉君 私一個ノ意見ハアリマスガ、申上グテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵大木遠吉君 ソレハ斯ノ如キ案ヲデス、隨分滑稽ノヤウニ思フ者モアルカラ、私ハ斯様ナモノハ自分ハ贊成ハ致サヌノデアル、否決セラレムコトヲ希望スルノデアリマス、サウシテ尙ホ兩議院ノ傍聽ヲ許スト云フコトガ全體…是ニハ極メテ政府委員モ弱ラレタノデス、サウ云フヤウナコトガアル爲ニ矛盾スルトカ何トカ言ハレテ、政府委員ハ隨分當惑ヲ致サレタ、我輩ニシテ見ルト政府委員ニ大ニ同情ヲ表シテ居タガ、奈何セム許シテアル、ソレデアルカラ將來ノ希望トシテ帝國議會ノ傍聽ハ女子ヲ禁ゼラルルノ方法ヲ取ラレムコトヲ希望イタスノデアリマス、是ダケ…

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 此際尙ホ諸君ニ御詔リ致シマスガ、渡良川沿岸地方特別地價修正法中改正法律案ノ否決報告ヲ副委員長ヨリ受領イタシマタ、此際議事日程ヲ追加イタシテ第一讀會ノ續ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、日程ハ追加セラレマシタ、西村亮吉君

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案
右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十六日

右特別委員副委員長

西村亮吉

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 ナシ

貴族院議長公爵德川家達殿
〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

西村亮吉

○西村亮吉君 諸君、此渡良瀬川沿岸地方特別地價改正法中改正法律案、此委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス、此案ノ委員會ハ去ヌル二十一日ニ開キマシタガ、委員諸君ニ病人ガアリマシテ、人員ガ揃ハナイデ流會ニナリマシテ、

即チ昨二十五日、サウシテ今日、兩度委員會ヲ開キマシテ、十分ニ調査ヲ致シマシタ、段々政府委員カラ承ハリマシタガ、大藏省ノ政府委員ニハ段々又

此案ニ付イテ意見モ承ハリマシタ、且ツ實地ノコトモ質問ニナリマシタ、此法律案ノ發布以來三十七年八年ト兩度ニ地價ヲ修正ヲ致シマシテ、其以來地

價ノ修正ハ致シマセヌ趣デアリマス、ソレカラ其後ニ願ヒ出タモノハ無イカト云フト、アル、アリハアルガ其鑽毒ニ罹ッタ部ト云フモノハ至ッテ輕少ニシテ、此第十等地ノ一割五分ニモ相當ラヌ鑽毒デアッテ、地價ヲ修正スル程ノコトハナイト云フコトデアリマス、又田畠ノ外、宅地、此度此案ニ出テ居ル宅地、山林、原野、沼池等ハ至ッテ鑽毒ノ極ク輕少ナモノデ地價ヲ修正スル程ナモノデナイト云フコトデアリマシタ、ソレヨリシテ尙ホ農商務省ノ政府委員ニ出テ貴ウテ爲ト鑽毒ノ歩合ヲ承ッテ見タイト云フコトニナリマシテ、サウシテ本日鑽山局長ガ出席ニナリマシテ、段々實地ノ話ニナリマシテゴザリマス、是ハ鑽毒調査會以來引續イテ年々調べ居ル、即チ極ク最近ノ十分ノ調ベヲ持ッテ來タカラ是デ御話ヲスルト云フコトデ、精シイ話ガアリマシタ、ソレヲ一々申上グルト、ナカナカ長ウゴザイマスカラ略シマスガ、詰リ鑽分ハドレ位アルカト云フコトヲ承ッテ見ルト、一億分ノ十乃至二十五クラヰヲ含有シテ居ルト云フモノデアルカラ、植物ニ對シテ格別害ハ無イトス

定期航海復舊繼續ノ件

北海道壽都郡壽都町平民漁業中田善八外三十三名呈出

同道檜山郡江差町平民漁業加藤重兵衛外六十四名呈出

右ノ請願ハ函館小樽間ノ諸要港ハ明治四十年九月定期航海獎勵金ノ交付満期トナリタル以來定期船ノ交通絶エ人貨ノ出入諸般ノ取引甚シキ不便ニ陥リタルヲ以テ速ニ定期船ノ交通ヲ復舊セシメランタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

暴風雨雹雪地地租免除ノ件
意見書案

秋田縣山本郡高木村平民農高杉保三外四名呈出

イノデアリマス、故ニ今日デ調ベラ了ヘマシテ、ソレヨリシテ此案ノ可否ヲ諮リマシタガ、全會一致デ是ハ否決スベキモノデアルト云フコトニ決シマシテゴザイマス、此段ヲ御報告ヲ致シマス、是ハ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略デ、是ハツイ間違ヒマシテゴザイマス、取消シマス

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

貴族院議長 公爵徳川 家達

意見書案
養豚獎勵法ノ件

東京府豊多摩郡澁谷村平民岩谷松平呈出

右ノ請願ハ農家ニ於ケル豚ノ飼養及利用ヲ盛ナラシメンカ爲歐米各國ニ於ケル斯業獎勵ノ例ニ倣ヒ本邦ニ於テモ養豚ニ關スル組合法又ハ獎勵法ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
高等商業學校設立ノ件

富山縣高岡市高岡經濟會會長菅野傳右衛門呈出

右ノ請願ハ商業ニ關スル専門教育機關ノ施設ハ刻下ノ急務ニシテ特ニ北陸地方ニハ未タ一ノ高等實業專門學校ノ建設アラサルヲ以テ適當ノ地ヲ選ヒ高等商業學校ヲ設立セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
姫路城保存ノ件

兵庫縣姫路市五軒邸士族會社員熊谷薰郎外四十二名呈出

右ノ請願ハ姫路城ハ古來本邦屈指ノ名城ニシテ教育技藝等ニ裨益スルトヨロ尠カラサルニ依リ今ヤ頽敗セムトスル同城ヲ補修シ永遠ニ保存セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
鐵道速成ノ件

北海道紋別郡渚滑村士族農岩田宗晴外四百三十三名呈出

右ノ請願ハ北海道天鹽國名寄ヨリ北見國紋別湧別ヲ經テ野付牛ニ至ル鐵道ハ既ニ豫定鐵道線路中ニ編入セラレタルモ該鐵道ハ同道ノ拓殖上及對外發展上一日モ闕クヘカラサルモノナルヲ以テ之ヲ第一期線ニ繰上ケ速ニ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

意見書案
假名遣ニ關スル件

東京市小石川區小日向水道端町士族中田憲信外三十二名呈出

右ノ請願ハ文部省ニ於テ國語竝字音假名遣法ヲ改定シ之ヲ國民教育ニ强行

意見書案

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

貴族院議長 公爵徳川 家達

山陰縦貫鐵道速成ノ件

島根縣那賀郡濱田町長中村豊年外十八名呈出

右ノ請願ハ石見地方ノ發達ノ遲滯タルハ主トシテ交通機關ノ不備ナルニ因ルヲ以テ豫定鐵道線路中ノ島根縣今市ヨリ山口縣小郡ニ至ル鐵道ヲ第一期線ニ繰上ケ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

上越鐵道敷設ノ件

新潟縣南魚沼郡鹽澤町平民銀行業青木利福外二百二十一名呈出

右ノ請願ハ群馬縣高崎ヨリ新潟縣長岡ニ至ル鐵道ハ新潟東京間ノ最捷路トナリ且軍事上最必要ノモノナルノミナラス特ニ他地方ニ於ケル交通機關ノ發達ノ影響ヲ受ケテ衰微ニ陥リタル請願人等ノ地方ニ於ケル富力ヲ増進セシメ頑運ヲ挽回セシムルモノナルヲ以テ速ニ之カ敷設ヲ計畫セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

重要物產同業組合法改正ノ件

愛知縣東春日井郡瀬戸町瀬戸陶磁工商同業組合組長加藤光太郎外二十
名呈出(二十二通)

右ノ請願ハ重要物產同業組合法ハ實行上支障アリテ未タ充分ニ產業ノ發達ヲ圖リ營業ノ弊害ヲ矯正シ以テ其ノ目的ヲ達スルコト能ハサルヲ以テ組合員ノ加入ヲ強制シ組合員ノ營業品ヲ検査シ其ノ他組合ノ監督費用ノ徵收等ニ關シ適當ナル改正ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

右ノ請願ハ國有鐵道奥州線中ノ久喜蓮田兩停車場間ハ距離甚遠ク從來多數町村ノ不便トスルトヨロナルヲ以テ兩地ノ中央ニ停車場ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

北海道函館區大町平民漁業由本已之助外一名呈出

右ノ請願ハ請願人等ハ多年樺太島ニ在リテ露國政府ノ許可ヲ得テ漁業ニ從事中明治三十二年同政府ヨリ紅魚族ノ繁殖保護ノ名ノ下ニ其ノ漁場ヲ閉鎖セラレ多大ノ損害ヲ受ケタル者ナルヲ以テ之ヲ開放シ再ヒ請願人等ニ漁場ヲ貸下ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

樺太島漁場再貸下ノ件

貴族院議長 公爵徳川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

停車場設置ノ件

埼玉縣南埼玉郡日勝村長佐川重作外十名呈出

同縣同郡同村平民農鬼久保文輔外百七十四名呈出

右ノ請願ハ國有鐵道奥州線中ノ久喜蓮田兩停車場間ハ距離甚遠ク從來多數町村ノ不便トスルトヨロナルヲ以テ兩地ノ中央ニ停車場ヲ新設セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

鐵道敷設ノ件

千葉縣君津郡木更津町長香々見儀助外五十一名呈出

右ノ請願ハ千葉縣千葉郡蘇我町ヨリ君津郡木更津町ニ至ル鐵道ハ既ニ豫定
鐵道線路中ニ編入セラレタルモ之カ敷設ハ啻ニ沿道地方ノ開發ニ資スルノ
ミナラス既設鐵道ノ效力ヲ一層大ナランムルモノナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設

セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致
候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道稚内港修築ノ件

北海道宗谷郡稚内町平民漁業小林常吉外四十一名呈出

右ノ請願ハ北海道北見國稚内港ハ小樽稚内線及稚内網走線航路ノ終點基點
ヲ爲シ且函館コルサコフ線ノ汽船定期寄港地ナリト雖港灣不良ニシテ航海
者ノ困難渺カラス延イテ同道ノ拓殖ヲ阻礙スルヲ以テ同港ヲ修築セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

敦賀舞鶴間鐵道敷設ノ件

福井縣大飯郡和田村平民農白崎市太郎外四名呈出

右ノ請願ハ舞鶴軍港敦賀港間ノ鐵道ハ既ニ政府ニ於テ十二年間ニ敷設スヘ
キモノト内定セラレタリト聞クモ兩地ノ聯絡ハ經濟上及國防上一日モ緩ウ
スヘカラサルヲ以テ速ニ之カ敷設ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ
別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

利根川流域地方ニ統一的治水策ヲ行フノ件
埼玉縣北埼玉郡利島村農佐藤榮助外二十一名呈出

同縣同郡川邊村平民農稻村廣吉外一名呈出

右ノ請願ハ利根渡良瀬兩川ノ沿岸地方ハ洪水アル毎ニ利根川逆流ノ害ヲ被
ルコト甚シキヲ以テ水源地ノ伐木ヲ禁シ千葉縣關宿ノ堰堤ノ如キ流水ヲ妨
クヘキ人爲的施設ヲ撤スル等治水ノ統一ヲ計ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族
院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ
別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

自治體救濟ノ件
意見書案

群馬縣邑樂郡海老瀬村農增保金藏外六名呈出

右ノ請願ハ柄木縣ノ施設ニ係レル舊谷中村ノ溜水池ハ千葉縣關宿ノ水門ト
相待チテ利根川沿岸ノ多數町村ヲ苦シメ殊ニ請願人等ノ居村ハ其ノ被害最
甚シク村政危殆ニ陥リタルニ依リ速ニ谷中村ノ堤防ヲ復舊セラレタシトノ
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第
六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

地種組換ノ件
兵庫縣揖保郡龍野町士族公吏原田靖外六百十五名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣揖保郡龍野町ノ宅地ハ曩ニ市街宅地ニ編入セラレタルモ

同町ハ交通不便ナルノミナラス荒廢セル士族屋敷貧民窟等アリテ年々衰微

ニ陷リ到底其ノ負擔ニ堪ヘサルヲ以テ速ニ地種ヲ郡村宅地ニ組換ヘラレタ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議

院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

道路開墾並増毛支廳移轉ノ件

意見書案

北海道苦前郡羽幌村平民商齋藤淺吉外百六十名呈出

右ノ請願ハ北海道天鹽國羽幌ハ漸次發達ノ機運ニ向ヘルモ運輸交通ノ便ヲ
顧キ不利尠カラサルヲ以テ羽幌御料地間ノ里道ヲ延長シ且國費ヲ以テ羽幌
名寄間ノ道路ヲ開墾シ及天鹽全國ノ開發ニ便スル爲偏隅ニ在ル增毛支廳ヲ
同地ニ移サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト
議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

清渉丸燒失賠償金下付ノ件

意見書案

北海道函館區仲濱町平民清渉丸船主濱根岸太郎呈出

右ノ請願ハ請願人ノ所有ニ係レル帆船清渉丸ハ韓國沿海ニ出漁ノ際明治三

十七年六月元山津ニ於テ露國軍艦ノ爲ニ砲擊セラレ火災ヲ起シテ沈没シ多

額ノ損害ヲ受ケタルヲ以テ之カ代償トシテ戰時捕獲船中漁船ニ適スルモノ

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

舊白川縣物產步入所誤納金還付ノ件

熊本縣飽託郡本庄村士族大田黒一貫呈出

右ノ請願ハ政府ハ明治七年故ナク請願人ノ元白川縣ヨリ讓受ケタル步入會

社ノ全財産ヲ沒收シタルニ其ノ財産中ニハ當時請願人ニ於テ年賦ヲ以テ返
納スヘキ金額ヲ除キ尙多額ノ剩餘金ヲ包含セルヲ以テ該剩餘金ノ還付ヲ出
願シタルモ政府カ司法裁判ノ確定ヲ口實トシテ之ヲ拒否シタルハ不當ナル
ニ付適當ノ救濟ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

賣藥稅法改正ノ件

岐阜縣大野郡高山町平民賣藥業柿下清六呈出

右ノ請願ハ賣藥ニ印紙稅ヲ課スルハ徒ニ検査手續ヲ煩雜ナラシメ徵稅費ヲ
增加セシメ及斯業ノ萎靡不振ヲ來スモノナルヲ以テ印紙稅ヲ廢シ既ニ免稅
トナレル輸出賣藥以外ノ賣藥ニ對シ其ノ賣上高ニ依リ現行法ノ印紙稅額ノ
範圍内ニ於テ課稅セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス
ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

右ノ請願ハ長崎縣北松浦郡世知原村長松田等呈出

意見書案

遠ク道路險惡交通不便ニシテ往復ニ日時ヲ空費スルコト甚シク登記事件ノ滯滯ヲ來シ村民ノ不利尠カラサルヲ以テ同村ニ佐世保區裁判所出張所ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
教育基金ニ關スル件

東京市牛込區市ヶ谷砂土原町平民雜誌記者湯本武比古外五十二名呈出

(五通)

岐阜縣郡上郡八幡町公吏茂原信可外百四十二名呈出(十一通)

右ノ請願ハ近時地方教育事業ノ發展ニ伴ヒ各種自治團體ハ之カ負擔ノ重キニ苦シムニ至リタルエ曩ニ教育基金ノ流用セラレタル爲益其ノ施設ヲ完ウスルコト能ハサルヲ以テ速ニ該基金ヲ補填セラレタク然ラスムハ普通教育保護獎勵ノ爲之カ填補ニ至ル迄年年少クトモ金五十萬圓ヲ各府縣ニ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
水難救護法改正ノ件

靜岡縣磐田郡二俣町天龍川材木商同業組合組長澤内宗次郎外二名呈出

右ノ請願ハ河川ニ於ケル漂流物ノ大部ハ流失材木ニシテ是等ハ風水等ノ天災ニ因リ一時所持者ノ占有ヲ離レタルモノナルカ故ニ遭難船舶ト均シク特殊ノ救護ヲ受クヘキ性質ヲ有スルヲ以テ現行水難救護法ニ請願人等私案ノ如キ改正ヲ加ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
避難漁港築造ニ關シ國庫補助ノ件

靜岡縣榛原郡御前崎村長松林半右衛門呈出

右ノ請願ハ遠江灘ハ本邦屈指ノ好漁場ナルモ七十五里ノ沿海ニ全然避難港ヲ闕キ漁船ノ困難甚シキニ依リ靜岡縣榛原郡御前崎村ニ於テ之カ施設ヲ企畫スト雖モ資力足ラサルヲ以テ國庫ヨリ相當ノ補助金ヲ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案
烟地租免除ノ件

茨城縣稻敷郡生板村長大野久三郎呈出

意見書案
水難救護法改正ノ件

同縣同郡長竿村長菊池正治呈出

同縣同郡大須賀村長小泉廣城呈出

同縣同郡源清田村長鈴木壽三郎呈出

同縣同郡阿波村長藤生一郎外一名呈出(二通)

同縣同郡太田村長吉小神仁外一名呈出(二通)

右ノ請願ハ請願人等ノ居村ハ明治三十九年ヨリ明治四十年ニ亘リテ利根川ノ水害ヲ被リ畑作物ノ損失莫大ニシテ住民ハ流離顛沛ノ悲境ニ陥リ爲ニ義務教育年限ノ延長ニ關スル施設ノ如キスラ之ヲ完ウスルコト能ハスシテ村治ニ重大ナル支障ヲ生スルノ虞アルニ依リ明治四十年度ノ畑地租ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

江戸川ノ浚渫ニ關スル件

埼玉縣北葛飾郡栗橋町平民農根岸門藏外六百六十二名呈出

右ノ請願ハ江戸川ノ河床ハ水源地方ニ於ケル土砂ノ流出甚シキ爲年年隆起シテ耕地ノ表面ヨリ數尺ノ高キニ至リ沿岸地方及東京市ハ水害ヲ被ルコト漸ク甚シカラムトスルヲ以テ之ヲ浚渫セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

利根渡良瀬兩川治水ニ關スル件

右ノ請願ハ利根渡良瀬兩川洪水汎濫ノ禍害ヲ除カムカ爲關宿ノ堰堤等ノ障礙物ヲ撤シテ利根川ノ逆流ヲ防キ舊谷中村ノ堤防ヲ修理シ其ノ他山林ノ濫伐ヲ禁シテ水源ヲ涵養スル等永久ノ治水策ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

青森築港ノ件

青森市參事會青森市長芹川得一呈出

右ノ請願ハ青森港ハ本州ト北海道及樺太トノ交通ノ要衝ニ當リ灣廣ク水深クシテ船舶ノ出入頻繁ナリト雖防波堤等ノ設備ヲ闢キ旅客貨物ノ受タル損害尠カラス殊ニ浦鹽斯德トノ航通開始モ遠カラサルカ故ニ國費ヲ以テ速ニ同港ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

渡良瀬川河身改修ノ件

栃木縣足利郡足利町士族公吏長祐之外百五名呈出

右ノ請願ハ渡良瀬川沿岸ノ住民ハ連年ノ水害ニ因リ生命財産ヲ失フコト尠

カラサルヲ以テ多大ノ縣費ヲ投シ同川ノ堤防工事ヲ施スト雖到底其ノ禍害ヲ根治スルニ足ラサルニ依リ國費ヲ以テ速ニ河身改修工事ヲ行ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案 電信事務開始ノ件

岡山縣苦田郡久田村平民公吏牧野千眞太郎外二十三名呈出

右ノ請願ハ岡山縣苦田郡久田村外三箇村ハ津山倉吉間ノ中樞ニ當リ交通頻繁ニシテ各種ノ産業盛ナルモ數里ヲ隔ツル寺元郵便局ヲ經ルニ非サレハ電信ノ取扱ヲ受クルコト能ハス不便尠カラサルヲ以テ黒木郵便局ニ電信事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣候爵西園寺公望殿

意見書案 紋別灣修築ノ件

北海道紋別郡渚滑村士族農岩田宗晴外五名呈出

右ノ請願ハ北海道紋別灣ハ北見海岸中最築港ニ適當ナル地ニシテ現下同道拓殖ノ機運ト沿海州漁業ノ發展トハ同港修築ノ急ヲ要スルニ至リタルヲ以テ速ニ其ノ工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

北海道留萌增毛間鐵道敷設ニ關スル件
右ノ請願ハ石狩國兩龍原野ヨリ增毛ニ至ル鐵道中留萌兩龍原間ハ既ニ敷設ニ著手セラレタルモ全線ノ開通ヲ見サレハ鐵道ノ利用全キヲ得サルヲ以テ速ニ全線ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五ニ依リ別冊及送付候也
明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣候爵西園寺公望殿

意見書案 北上川改修工事速成ニ關スル件

北海道增毛郡增毛町平民商本間泰藏外百十五名呈出

右ノ請願ハ天然ノ良港ニシテ載炭給水ニ便ナルノミナラス
亞細亞大陸トノ貿易上最適當ノ位置ヲ占ムルヲ以テ國運ノ伸張ニ資セムカ
爲國港トシテ速ニ之ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣候爵西園寺公望殿

意見書案 博多築港ノ件

福岡市參事會福岡市長佐藤平太郎呈出

右ノ請願ハ福岡縣博多港ハ天然ノ良港ニシテ載炭給水ニ便ナルノミナラス
亞細亞大陸トノ貿易上最適當ノ位置ヲ占ムルヲ以テ國運ノ伸張ニ資セムカ
爲國港トシテ速ニ之ヲ修築セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治四十一年月日

○議長(公爵徳川家達君)過半數ト認メマス、是ヨリ報告ヲ致シマス
〔太田書記官長朗讀〕

本月二十七日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被 仰出候此段及通牒候也

明治四十一年三月二十六日

貴族院議長公爵徳川家達殿 内閣總理大臣 侯爵西園寺公望

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ於テ散會ヲ致シマス

午後六時五十五分散會